

令和7年度 入学者選抜要項



国立大学法人

九州工業大学

本入学者選抜要項の内容に変更が生じた場合は、速やかに本学ホームページにてお知らせします。

○入試に関する重要なお知らせ

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/>



目 次

令和7年度入学者選抜日程の概要	1
九州工業大学のアドミッションポリシー	2
令和7年度入学者選抜の概要	3
1. 募集人員	3
2. 一般選抜	
(1) 選抜方式	4
(2) 出願資格	4
(3) 選考方法	4
(4) 実施教科・科目等	5
(5) 個別学力検査の試験場	6
(6) 欠員補充	6
3. 学校推薦型選抜	
(1) 推薦Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	7
(2) 推薦Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	9
4. 総合型選抜	
(1) 総合Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	11
(2) 総合Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	13
(3) IB（国際バカロレア）	15
(4) 帰国生徒	17
5. 私費外国人留学生選抜	19
6. 令和7年度入学者選抜における旧教育課程履修者等に対する経過措置について	20
7. 英語資格・検定試験の利用	
(1) 利用の要件等	21
(2) 換算表	21
(3) スコア証明書提出における注意事項	22
8. 障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談	23
9. 個別の入学資格審査	24
10. 入学者選抜に係る情報開示	27
11. 安全保障輸出管理	27
12. 学生募集要項等の入手方法及び公表時期	28
13. 各学部のアドミッションポリシー	
(1) 工 学 部	29
(2) 情報工学部	33
◆令和6年度入学者選抜実施状況	36
◆九州工業大学の所在地	37
◆令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）の変更点【予告】	40

令和7年度入学者選抜日程の概要

【一般選抜】

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日
前期日程	令和7年 1月27日（月）	令和7年 2月25日（火）	令和7年 3月7日（金）
後期日程	） 2月5日（水）	令和7年 3月12日（水）	令和7年 3月20日（木・祝）

【学校推薦型選抜】

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦Ⅰ （大学入学共通 テストを課さない）	令和6年 11月1日（金） ） 11月8日（金）	令和6年 11月28日（木） または 11月29日（金） のいずれか1日	令和6年 12月6日（金）
推薦Ⅱ （大学入学共通 テストを課す） 【工学部のみ】	令和7年 1月20日（月） ） 1月27日（月）	/	令和7年 2月12日（水）

【総合型選抜】

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日
総合Ⅰ （大学入学共通 テストを課さない）	令和6年 9月2日（月） ） 9月6日（金）	第1段階選抜 令和6年 9月21日（土） 【予備日：9月28日（土）】 第2段階選抜 10月19日（土） または 10月20日（日） のいずれか1日	第1段階選抜合格者 令和6年 10月3日（木） 合格者 11月1日（金）
総合Ⅱ （大学入学共通 テストを課す）	令和6年 12月6日（金） ） 12月13日（金）	令和7年 2月8日（土） または 2月9日（日） のいずれか1日	第1段階選抜合格者 令和6年 12月24日（火） 合格者 令和7年 2月12日（水）
IB（国際バカロレア）	令和7年 1月21日（火） ） 1月23日（木）	令和7年 2月9日（日）	令和7年 2月12日（水）
帰国生徒	令和6年 11月1日（金） ） 11月8日（金）	令和6年 11月28日（木） または 11月29日（金） のいずれか1日	令和6年 12月6日（金）

【私費外国人留学生選抜】

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日
私費外国人留学生 選抜	令和7年 1月6日（月） ） 1月10日（金）	令和7年 2月25日（火） 及び 2月26日（水） の2日間	令和7年 3月7日（金）

九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

建学の精神：技術に堪能（かんのう）なる士君子

今をさかのぼること110余年、明治42年（1909年）、北九州・戸畑の地（現在の北九州市戸畑区）に九州工業大学の前身である私立明治専門学校が開校しました。戸畑からほど近い八幡の地には明治34年（1901年）に官営八幡製鉄所が設置され、日本の近代化を殖産興業から支えた重要な産業拠点となりました。八幡製鉄所を含む北部九州を中心に現存する歴史的な産業建造物群は2015年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録され、その歴史的価値を世界に認められたことは記憶に新しいところです。

これらの産業施設に魂を込めるべく、日本における技術者（エンジニア）の養成を旗印として、当時の高等教育の巨人、山川健次郎博士を初代総裁として招き、安川敬一郎および松本健次郎の巨額の寄付のもと設立されたのが明治専門学校です。このときに示されたのが「技術に堪能なる士君子」の養成、すなわち技術に精通するとともに、道義心のある人格者を養成することを目的に、単に学問・技術を授けるのではなく、人間形成にも重点を置いた教育を行うという、建学の精神です。本学はその設置形態を私立から官立、そして国立大学へと変えつつも、この建学の精神を脈々と受け継ぎ、明治、大正、昭和、平成を経て、令和の現在に至るまで、日本の近代化、工業化、産業の発展に貢献する、7万人を超える優れた技術者を輩出し続けてきました。

また、昭和61年（1986年）には、情報通信革命が始まる中、日本の情報通信技術を支える技術者を輩出するため、福岡県飯塚市に情報工学部を設置しました。平成12年（2000年）には、生命（バイオ）のもつ特性を工学的に活用し21世紀を支える技術を創出する技術者を輩出するため、北九州市若松区の学研都市内に生命体工学研究科を設置しました。

九州工業大学は、Society5.0を目指して急速に社会が進展する中で、工学・情報工学・生命体工学の各分野で新たな知識と技術を生み出し続ける研究力を背景としながら、常に日本の産業を支え、世界で活躍できる技術者を育てる学びの場を提供し続けています。そして多くの卒業生が企業の中核技術者や経営者として社会を支え、未来を切り拓いています。

九州工業大学は、「技術に堪能なる士君子」の養成という建学の精神のもと、幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念としています。この理念に則り、「ものづくり」と「情報」における新しい技術と科学の発展のため、深い専門性と幅広い知識・教養、多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション力および技術者として必要な倫理観を備えた人材を育成し、グローバル社会で活躍できる優れた技術者（グローバルエンジニア）としての能力を発展・向上させることを使命としています。

そこで、本学が入学者に期待することは以下のとおりです。

- (1) 理工学分野の学修において基盤となる、数学、理科（物理、化学、生物等）、情報などの理数系教科・科目に高い学力を持ち、各高等学校等が定める教育課程に従い全ての教科・科目の基礎学力を持っていること。
- (2) 理工系人材として成長する強い意志と、「社会をより良くする何かを残したい、社会の問題を解決したい」という夢をもち続け、自らそのために行動できること。
- (3) 国際化に対応できるコミュニケーション力の修得や、様々な文化を理解し受容することに前向きであること。
- (4) 自律的な学びから広い視野を持ち、多様な人々と協働することを通して、創意・発見する知の探究を持続する必要性を理解していること。

本学は、入学者の選抜にあたり、多様な選抜方法で、(1)～(4)の素養や能力を多面的・総合的に評価します。いずれの選抜方法においても、調査書等を用いて(1)の高等学校段階までの履修状況を確認します。加えて、一般選抜では、大学入学共通テスト、個別学力検査により、問題解決力を問うため、その基盤となる主に(1)の基礎学力と理数系の思考力・判断力・表現力等を評価します。一方、学校推薦型選抜、総合型選抜及び私費外国人留学生選抜では、本学での学修に対応できる基礎学力を問うとともに、技術者としての適性や主体性、多様な人々と協働する姿勢なども考慮し、(2)、(3)、(4)についても多面的に資質や能力を評価します。

令和7年度入学者選抜の概要

九州工業大学では、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。各選抜とも、出願にあたっては本学ホームページに公表する学生募集要項を必ず確認してください。

1. 募集人員

学部	類	募集人員	選抜区分ごとの募集人員								
			一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜				私費外国人留学生選抜
			前期日程	後期日程	推薦Ⅰ (大学入学共通 テストを課さない)	推薦Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)	総合Ⅰ (大学入学共通 テストを課さない)	総合Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)	IB (国際 バカロレア)	帰国生徒	
工学部	工学1類	80名	34名	18名	14名	4名	6名	4名	若干名	若干名	若干名
	工学2類	165名	67名	42名	30名	6名	11名	9名	若干名	若干名	若干名
	工学3類	144名	61名	36名	32名	4名	7名	4名	若干名	若干名	若干名
	工学4類	74名	31名	17名	15名	4名	4名	3名	若干名	若干名	若干名
	工学5類	68名	32名	13名	13名	3名	4名	3名	若干名	若干名	若干名
	小計	531名	225名	126名	104名	21名	32名	23名			
情報工学部	情工1類	177名	100名	25名	35名		10名	7名	若干名	若干名	若干名
	情工2類	110名	62名	15名	23名		6名	4名	若干名	若干名	若干名
	情工3類	123名	68名	17名	25名		8名	5名	若干名	若干名	若干名
	小計	410名	230名	57名	83名		24名	16名			
合計		941名	455名	183名	187名	21名	56名	39名			

(注1) 学校推薦型選抜(推薦Ⅰ・Ⅱ)及び総合型選抜(総合Ⅰ・Ⅱ)の合格者がそれぞれの募集人員に満たない場合は、その不足した人員を当該選抜以降に行われる選抜の合格者で補充します。

(注2) 後期日程の入学手続完了後、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は追加合格者を決定しますが、追加合格によっても入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

(注3) 入学後、1年生は学部・類に所属して共通教育を受け、その後、2年生進級時に学科への所属となります。各類から2年生進級時に所属できる学科は、下表のとおりです。なお、学科への所属は、本人の適性や興味等に応じた希望と学業成績により決定します。

【工学部】

類 (全選抜区分の募集人員) 【専門分野】	1年生	学科 (定員) ※2年生進級時に所属決定	コース
工学1類 (80名) 【土木, 建築学】	共通教育	建設社会工学科 (80名)	建築学コース/ 国土デザインコース
工学2類 (165名) 【機械, 制御, 宇宙】		機械知能工学科 (136名)	知能制御工学コース/ 機械工学コース
工学3類 (144名) 【電気, 電子, 通信, 情報, 宇宙】		宇宙システム工学科 (55名)	機械宇宙システム工学コース※ / 電気宇宙システム工学コース※
工学4類 (74名) 【応用化学】		電気電子工学科 (126名)	電気エネルギー工学コース/ 電子システム工学コース
工学5類 (68名) 【マテリアル, 金属, 環境, 宇宙】		応用化学科 (74名)	応用化学コース
		マテリアル工学科 (60名)	マテリアル工学コース

※ 機械宇宙システム工学コースは工学2類及び工学5類から、電気宇宙システム工学コースは工学3類及び工学5類から進級できます。

【情報工学部】

類 (全選抜区分の募集人員) 【専門分野】	1年生	学科 (定員) ※2年生進級時に所属決定	コース
情工1類 (177名) 【情報, 通信】	共通教育	知能情報工学科 (93名)	データ科学コース/人工知能コース/ メディア情報学コース
		情報・通信工学科 (93名)	ソフトウェアデザインコース/ 情報通信ネットワークコース/ コンピュータ工学コース
情工2類 (110名) 【情報, 機械, 制御】		知的システム工学科 (94名)	ロボティクスコース/システム制御コース/ 先進機械コース
情工3類 (123名) 【情報, 電子, 応用化学, 生命科学, マテリアル】		物理情報工学科 (65名)	電子物理工学コース/生物物理工学コース
		生命化学情報工学科 (65名)	分子生命工学コース/医用生命工学コース

2. 一般選抜

(1) 選抜方式

- ① 本学の一般選抜は、分離・分割方式（「前期日程」及び「後期日程」）で実施します。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つを選び、合計2つまでの大学・学部に出願することができます。

本学の「前期日程」に出願する者は、本学または他の国立大学・学部の「後期日程」に出願することができます。また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学または他の国立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。

- ② 志望類は、第3志望まで選択できます。志望類の選択に関する留意事項は次のとおりです。

ア 前期日程

第2志望及び第3志望の類は、第1志望の類と同一の学部からのみ選択できます。

なお、工学部においては、第3志望のみ志望類を「特定しない」とすることができます。

イ 後期日程

第2志望及び第3志望の類は、第1志望の類と異なる学部からも選択できます。

（例：第1志望が工学部「工学2類」で、第2志望が情報工学部「情工2類」など。）

なお、異なる学部の類を志望する場合についても、「1つの大学内での複数志望」として取り扱いますので、上記①のとおり合計2つまでの大学・学部に出願することができます。

(2) 出願資格

次の①～⑧のいずれかに該当し、第1志望の学部・類が指定する令和7年度大学入学共通テストの全教科・科目（5・6ページ参照）を受験した者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記⑧により出願しようとする者は、24～26ページ記載の「9. 個別の入学資格審査」に従い、手続きを行ってください。

(3) 選考方法

① 前期日程

入学者の選考は、大学入学共通テストの成績と本学が行う個別学力検査の成績を総合して行います。なお、志望理由書と調査書の内容は参考利用とします。

また、大学入学共通テストの成績は、令和7年度大学入学共通テストの成績を用いるものとします。令和6年度以前の成績は利用できません。

② 後期日程

入学者の選考は、大学入学共通テストの成績と本学が行う個別学力検査の成績を総合して行います。なお、調査書の内容は参考利用とします。

また、大学入学共通テストの成績は、令和7年度大学入学共通テストの成績を用いるものとします。令和6年度以前の成績は利用できません。

(4) 実施教科・科目等

① 工学部

区分	類名・募集人員	大学入学共通テストの指定教科・科目・配点			個別学力検査の実施教科・科目・配点		
		教科	配点	科目	教科	配点	科目
前期日程	工学1類 34名	国語	150	「国語」			
	工学2類 67名	地歴 公民	100	「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」、 「地理総合／歴史総合／公共」から1科目			
	工学3類 61名	数学	150	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	数学	400	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」
		理科	150	「物理」と「化学」	理科	400	「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」
	工学4類 31名	外国語	250	「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目			
	工学5類 32名	情報	25	「情報Ⅰ」			
		計	825	[6教科8科目]	計	800	
後期日程	工学1類 18名	国語	150	「国語」			
		数学	200	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	数学 理科	400	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」、 「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」から1科目
		理科	200	「物理」と「化学」			
	工学4類 17名	外国語	200	「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目			
	工学5類 13名	情報	20	「情報Ⅰ」			
		計	770	[5教科7科目]	計	400	
	工学2類 42名	国語	150	「国語」			
		数学	200	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	数学 理科	400	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」、 「物理基礎・物理」から1科目
		理科	200	「物理」と「化学」			
	工学3類 36名	外国語	200	「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目			
		情報	20	「情報Ⅰ」			
		計	770	[5教科7科目]	計	400	

② 情報工学部

区分	類名・募集人員	大学入学共通テストの指定教科・科目・配点			個別学力検査の実施教科・科目・配点		
		教科	配点	科目	教科	配点	科目
前期日程	情工1類 100名	国語	150	「国語」			
		地歴 公民	100	「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」、 「地理総合／歴史総合／公共」から1科目			
	情工2類 62名	数学	150	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	数学	情工1類 440 情工2類 400 情工3類 360	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」
	情工3類 68名	理科	150	「物理」、「化学」、「生物」、 「地学」から2科目	理科	情工1類 360 情工2類 400 情工3類 440	「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」から1科目
		外国語	250	「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目			
		情報	25	「情報Ⅰ」			
		計	825	[6教科8科目]	計	800	
後期日程	情工1類 25名	国語	150	「国語」			
		数学	情工1類 220 情工2類 200 情工3類 180	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	数学 理科	400	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」、 「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」から1科目
	情工2類 15名	理科	情工1類 180 情工2類 200 情工3類 220	「物理」、「化学」、「生物」、 「地学」から2科目			
	情工3類 17名	外国語	200	「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目			
		情報	20	「情報Ⅰ」			
		計	770	[5教科7科目]	計	400	

注意事項

1. 大学入学共通テストについて

- (1) 「国語」の配点内訳は、近代以降の文章 105 点、古文 22.5 点、漢文 22.5 点とします。
- (2) 「地歴・公民」において 2 科目受験した場合は、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の 3 つの出題範囲のうちから、2 つの出題範囲を選択解答してください。
- (3) 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。大学入学共通テストの受験上の配慮以外の理由により、リスニングを受験しなかった者は出願できません。
※ 「英語」の配点内訳は、前期日程がリーディング 125 点、リスニング 125 点、後期日程がリーディング 100 点、リスニング 100 点とします。
ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮によりリスニングを免除されて受験しなかった者については、リーディングの得点のみを利用（前期日程は 250 点満点、後期日程は 200 点満点として換算）します。
- (4) 後期日程において、第 2 志望または第 3 志望の類が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合、当該類における合否判定の対象とはなりません。
- (5) 情報工学部の後期日程において、第 2 志望類または第 3 志望類で選考する場合、大学入学共通テストの得点は、選考する類の配点に換算します。

2. 個別学力検査について

- (1) 令和 7 年度入学者選抜においては、数学 B は「数列」、数学 C は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- (2) 情報工学部の前期日程において、第 2 志望類または第 3 志望類で選考する場合、個別学力検査の得点は、選考する類の配点に換算します。
- (3) 後期日程において、志望類が指定する個別学力検査の教科・科目を受験していない場合、当該類における合否判定の対象とはなりません。ただし、工学部の工学 3 類を第 2 志望または第 3 志望とする場合は、この限りではありません。（受験教科で理科を選択し、「化学基礎・化学」を受験した場合でも合否判定の対象となります。）

3. 英語資格・検定試験スコアの利用について

出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21 ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。

(5) 個別学力検査の試験場

本学の個別学力検査は、前期日程、後期日程ともに、「本学工学部（戸畑キャンパス）」で実施します。

(6) 欠員補充

後期日程の入学手続完了後、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、他の国公立大学に入学手続を行っていない者を対象に追加合格を行います。また、必要に応じて欠員補充第 2 次募集を行うこともあります。

なお、追加合格の実施方法については一般選抜学生募集要項で、欠員補充第 2 次募集を行う場合の学部・類及び選考方法等については令和 7 年 3 月中に本学ホームページで公表します。

3. 学校推薦型選抜

(1) 推薦Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

【工学部】

募 集 人 員	工学1類 14名 工学2類 30名 工学3類 32名 工学4類 15名 工学5類 13名																															
出 願 資 格	次の①及び②に該当し、合格した場合、入学することを確認できる者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）、中等教育学校または文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び令和7年3月卒業（修了）見込みの者 ② 出身学校長が次のいずれか1つに該当するものと認め、責任を持って推薦する者 （ア）数学、理科が特に優秀である者 （イ）調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の者																															
選考方法等	入学者の選考は、適性検査（英語、数学、理科）、主体性等評価及び調査書の結果を総合して行います。 ①適性検査（英語、数学、理科） 英語はタブレットを用いたCBT（Computer Based Testing）方式の選択式問題で、数学及び理科は個人面接における口頭試問により評価します。 ②主体性等評価 高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」（出願時に提出）の内容に関する書類審査、及び、個人面接における口頭試問により評価します。 ③調査書 「全体」または「数学及び理科」の学習成績の状況（評定平均値）が高い方を点数化します。 ・評価項目及び配点（1,000点満点） <table><tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="4">適性検査</th><th>主体性等評価</th><th rowspan="3">調査書</th></tr><tr><th>CBT</th><th colspan="3">口頭試問</th><th rowspan="2">書類審査及び 口頭試問</th></tr><tr><th>英語</th><th>数学</th><th colspan="2">理科</th></tr><tr><td>工学1類 工学2類 工学3類</td><td rowspan="3">150</td><td>300</td><td>300</td><td>物理の領域</td><td rowspan="3">150</td><td rowspan="3">100</td></tr><tr><td>工学4類</td><td>250</td><td>350</td><td>化学の領域</td></tr><tr><td>工学5類</td><td>300</td><td>300</td><td>物理または化学の領域</td></tr></table> ・英語資格・検定試験スコアの利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。	類	適性検査				主体性等評価	調査書	CBT	口頭試問			書類審査及び 口頭試問	英語	数学	理科		工学1類 工学2類 工学3類	150	300	300	物理の領域	150	100	工学4類	250	350	化学の領域	工学5類	300	300	物理または化学の領域
類	適性検査				主体性等評価	調査書																										
	CBT		口頭試問				書類審査及び 口頭試問																									
	英語	数学	理科																													
工学1類 工学2類 工学3類	150	300	300	物理の領域	150	100																										
工学4類		250	350	化学の領域																												
工学5類		300	300	物理または化学の領域																												
出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～ 8日（金）																															
試 験 日	令和6年11月28日（木）または29日（金）のいずれか1日																															
試 験 場	本学工学部（戸畑キャンパス）																															
合 格 発 表 日	令和6年12月 6日（金）																															
そ の 他	・理数系基礎学力、科学技術に対する強い興味、さらにリーダーとしての資質を持つ学生を募集します。例えば、ある課題を与えられたときに基礎学力を基にしてじっくり考え、その中に潜む問題を発見し、意欲と熱意をもって独自の見方、考え方で解決に導くことに取り組むことができ、その課題解決をグループで行う場合には、リーダーシップを発揮できる学生を対象とします。 ・国公立大学の学校推薦型選抜へ出願できるのは、1つの大学・学部のみとなっており、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）に出願し、不合格となった場合は、同一類を志望する場合に限り、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）に出願することができます。																															

【情報工学部】

募 集 人 員	情工1類 35名 情工2類 23名 情工3類 25名																								
出 願 資 格	次の①及び②に該当し、合格した場合、入学することを確約できる者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）、中等教育学校または文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び令和7年3月卒業（修了）見込みの者 ② 出身学校長が責任を持って推薦する者																								
選 考 方 法 等	入学者の選考は、適性検査（英語、数学、理科）、主体性等評価及び調査書の結果を総合して行います。 ①適性検査（英語、数学※、理科） 英語はタブレットを用いた CBT（Computer Based Testing）方式の選択式問題により評価します。数学及び理科は、タブレットを用いた CBT 方式の選択式問題に加えて、個人面接における口頭試問により評価します。なお、理科は、インターネット出願登録時に物理、化学、生物の領域から1つを選択してください。 ②主体性等評価 インターネット出願登録時に入力した、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する「主体性等申告」の内容に関する書類審査、及び、個人面接における「主体性等申告」等に関する口頭試問により評価します。 ③調査書 「全体」の学習成績の状況（評定平均値）を点数化します。 ※ 高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者については、数学の適性検査における出題科目を、「プログラミング技術（教科名：工業）」、「プログラミング（教科名：商業）」、「情報システムのプログラミング（教科名：情報）」、「数学Ⅰ・数学A」のいずれかに代えることができますので、該当者はインターネット出願登録時に数学の範囲を選択してください。 ・評価項目及び配点（1,000 点満点） <table><tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="3">適性検査</th><th rowspan="3">主体性等評価 書類審査及び 口頭試問</th><th rowspan="3">調査書</th></tr><tr><th>CBT</th><th colspan="2">CBT 及び口頭試問</th></tr><tr><th>英語</th><th>数学</th><th>理科</th></tr><tr><td>情工1類</td><td rowspan="3">150</td><td>330</td><td>270</td><td rowspan="3">200</td><td rowspan="3">50</td></tr><tr><td>情工2類</td><td>300</td><td>300</td></tr><tr><td>情工3類</td><td>270</td><td>330</td></tr></table> 物理、化学、生物 の領域から1つ選択 ・英語資格・検定試験スコアの利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。	類	適性検査			主体性等評価 書類審査及び 口頭試問	調査書	CBT	CBT 及び口頭試問		英語	数学	理科	情工1類	150	330	270	200	50	情工2類	300	300	情工3類	270	330
類	適性検査			主体性等評価 書類審査及び 口頭試問	調査書																				
	CBT		CBT 及び口頭試問																						
	英語	数学	理科																						
情工1類	150	330	270	200	50																				
情工2類		300	300																						
情工3類		270	330																						
出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～ 8日（金）																								
試 験 日	令和6年11月28日（木）または29日（金）のいずれか1日																								
試 験 場	本学情報工学部（飯塚キャンパス）																								
合 格 発 表 日	令和6年12月 6日（金）																								
そ の 他	・知的好奇心に富み、物事をじっくり観察し、深く考察して論理的判断を下すことができる学生を募集します。 十分な基礎学力を持つ者、理数系や情報工学系の特定の分野に強い興味を持ち創造性豊かな者、勉学に対する熱意を持ち学校内外の活動を通して積極的行動力や指導力を身につけた者等を対象とします。 ・志望類は、情報工学部の類から第3志望まで選択できます。 ・国公立大学の学校推薦型選抜へ出願できるのは、1つの大学・学部のみとなっており、本学情報工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）に出願した場合、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）には出願できません。																								

(2) 推薦Ⅱ (大学入学共通テストを課す)

【工学部のみ実施】

募 集 人 員	工学1類 4名 工学2類 6名 工学3類 4名 工学4類 4名 工学5類 3名																															
出 願 資 格	次の①～④に該当し、合格した場合、入学することを確約できる者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）、中等教育学校または文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び令和7年3月卒業（修了）見込みの者 ② 出身学校長が次のいずれか1つに該当するものと認め、責任を持って推薦する者 （ア）数学、理科が特に優秀である者 （イ）調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の者 ③ 本学が指定する令和7年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験した者 ④ 数学Ⅲ（理数科にあっては、理数数学Ⅱ）を履修している者																															
選 考 方 法 等	入学者の選考は、大学入学共通テストの成績、主体性等評価及び調査書の結果を総合して行います。（合計1,070点満点） ・大学入学共通テストの指定教科・科目並びに配点（920点）（6教科8科目） <table><tr><th>類</th><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="6">全類</td><td>国語</td><td>「国語」</td><td>200</td></tr><tr><td>地歴 公民</td><td>「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」,「公共、倫理」,「公共、政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」から1科目</td><td>100</td></tr><tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」</td><td>200</td></tr><tr><td>理科</td><td>「物理」と「化学」</td><td>200</td></tr><tr><td>外国語</td><td>「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」 から1科目</td><td>200</td></tr><tr><td>情報</td><td>「情報Ⅰ」</td><td>20</td></tr></table> ※ 「国語」の配点内訳は、近代以降の文章140点、古文30点、漢文30点とします。 ※ 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を用います。なお、「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の3つの出題範囲のうちから、2つの出題範囲を選択解答してください。 ※ 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。大学入学共通テストの受験上の配慮以外の理由により、リスニングを受験しなかった者は出願できません。 「英語」の配点内訳はリーディング100点、リスニング100点とします。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮によりリスニングを免除されて受験しなかった者については、リーディングの得点のみを利用（200点満点として換算）します。 ・主体性等評価及び調査書の配点（150点） <table><tr><th>類</th><th>評価項目</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">全類</td><td>主体性等評価</td><td>50</td></tr><tr><td>調査書</td><td>100</td></tr></table> ※ 「主体性等評価」では、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」（出願時に提出）の内容に関する書類審査により評価します。 ※ 「調査書」では、「全体」の学習成績の状況（評定平均値）を点数化します。	類	教科	科目	配点	全類	国語	「国語」	200	地歴 公民	「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」,「公共、倫理」,「公共、政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」から1科目	100	数学	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	200	理科	「物理」と「化学」	200	外国語	「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」 から1科目	200	情報	「情報Ⅰ」	20	類	評価項目	配点	全類	主体性等評価	50	調査書	100
類	教科	科目	配点																													
全類	国語	「国語」	200																													
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」,「公共、倫理」,「公共、政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」から1科目	100																													
	数学	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	200																													
	理科	「物理」と「化学」	200																													
	外国語	「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」 から1科目	200																													
	情報	「情報Ⅰ」	20																													
類	評価項目	配点																														
全類	主体性等評価	50																														
	調査書	100																														

選 考 方 法 等	・英語資格・検定試験スコアの利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。
出 願 期 間	令和7年 1月20日（月）～27日（月）
試 験 日	
合 格 発 表 日	令和7年 2月12日（水）
そ の 他	・国公立大学の学校推薦型選抜へ出願できるのは、1つの大学・学部のみとなっており、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）に出願し、不合格となった場合は、同一類を志望する場合に限り、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）に出願することができます。 ・本学情報工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）に出願した場合、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）には出願できません。 ・本学の総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、第1段階選抜に合格となっている場合は、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）には出願できません。

4. 総合型選抜

(1) 総合Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

【工学部・情報工学部共通（ただし、学部名の記載がある項目は、当該学部の内容を示している。）】

募 集 人 員	工学部 工学1類 6名 工学2類 11名 工学3類 7名 工学4類 4名 工学5類 4名	情報工学部 情工1類 10名 情工2類 6名 情工3類 8名																										
出 願 資 格	次の①～④のいずれかに該当し、合格した場合、入学することを確約できる者 ① 高等学校、中等教育学校若しくは文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業（修了）した者及び令和7年3月卒業（修了）見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者 ③ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの ④ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの ※ 上記④により出願しようとする者は、24～26ページ記載の「9. 個別の入学資格審査」に従い、手続きを行ってください。																											
選考方法の概要	入学者の選考は2段階選抜方式とし、課題解決型記述問題、適性検査（数学、理科、英語）、レポート、学びの計画書、グループワーク、個人面接及び調査書等の結果を総合して行います。 ・第1段階選抜 課題解決型記述問題、適性検査（数学、理科、英語）及びレポートの試験を実施します。 第1段階選抜の不合格者は第2段階選抜の試験を受験することはできません。 ・第2段階選抜 学びの計画書、グループワーク及び個人面接の試験を実施します。（ただし、学びの計画書は事前提出課題とします。）																											
第1段階選抜選考方法等	課題解決型記述問題、適性検査（数学、理科、英語）及びレポートの試験を実施します。課題解決型記述問題、適性検査（数学、理科、英語）及びレポートの試験をすべて受験しなければ、第1段階選抜の合否判定の対象とはなりません。 ・評価項目及び配点（770点満点） <table><tr><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2">課題解決型 記述問題</th><th colspan="4">適性検査</th><th rowspan="2">レポート</th></tr><tr><th>数学</th><th colspan="2">理科</th><th>英語</th></tr><tr><td>工学部</td><td>150</td><td>200</td><td>200</td><td>物理または化学 の領域から1つ選択</td><td rowspan="2">※注意事項 理科の選択領域によっては、第2段階選抜で志望できない類があります。 各々が指定する領域については、「第2段階選抜選考方法等」を参照してください。</td><td>120</td><td>100</td></tr><tr><td>情報工学部</td><td>150</td><td>200</td><td>200</td><td>物理、化学、生物 の領域から1つ選択</td><td>120</td><td>100</td></tr></table> ①課題解決型記述問題 小中学校・高等学校で学ぶ算数・数学、理科及び情報の内容をもとにした総合的な問題1つについて、図なども用いて解答してもらい、答案を評価します。 ②適性検査 タブレットを用いたCBT（Computer Based Testing）方式の選択式問題により評価します。 ③レポート 工学・情報工学に関する専門系科目の講義動画を1つ視聴し、その講義で重要だと考えられるキーワードを抽出した上で内容を要約するとともに、動画の視聴を通じて感じた入学までの学びの必要性についての考察を記述し、レポートとして提出してもらい、記述内容を評価します。 ・英語資格・検定試験スコアの利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。		学部	課題解決型 記述問題	適性検査				レポート	数学	理科		英語	工学部	150	200	200	物理または化学 の領域から1つ選択	※注意事項 理科の選択領域によっては、第2段階選抜で志望できない類があります。 各々が指定する領域については、「第2段階選抜選考方法等」を参照してください。	120	100	情報工学部	150	200	200	物理、化学、生物 の領域から1つ選択	120	100
学部	課題解決型 記述問題	適性検査				レポート																						
		数学	理科		英語																							
工学部	150	200	200	物理または化学 の領域から1つ選択	※注意事項 理科の選択領域によっては、第2段階選抜で志望できない類があります。 各々が指定する領域については、「第2段階選抜選考方法等」を参照してください。	120	100																					
情報工学部	150	200	200	物理、化学、生物 の領域から1つ選択		120	100																					

出 願 期 間	令和6年 9月 2日(月)～ 6日(金)																																																																																
第1段階選抜試験日	令和6年 9月21日(土) ※台風などの自然災害を考慮した予備日：9月28日(土)																																																																																
第1段階選抜試験場	本学工学部(戸畑キャンパス)及び学外試験場(大阪府)																																																																																
第1段階選抜合格発表日	令和6年10月 3日(木)																																																																																
第2段階選抜 選考方法等	学びの計画書、グループワーク及び個人面接の試験を実施します。 第1段階選抜と第2段階選抜の得点に基づいて、総合的に可否を判定します。ただし、各評価項目のいずれかの得点が著しく低い場合は、総合点にかかわらず、不合格となることがあります。また、学びの計画書を所定の期日までに提出し、グループワーク及び個人面接をすべて受験しなければ、第2段階選抜の可否判定の対象とはなりません。 ・評価項目及び配点(480点満点) <table><tr><th rowspan="4">学部</th><th rowspan="4">類</th><th colspan="6">第1段階選抜</th><th colspan="3">第2段階選抜</th></tr><tr><th rowspan="3">課題解決型記述問題</th><th colspan="4">適性検査</th><th rowspan="3">レポート</th><th rowspan="3">学びの計画書</th><th rowspan="3">グループワーク</th><th rowspan="3">個人面接</th></tr><tr><th rowspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">英語</th></tr><tr><th colspan="2">各々が指定する領域*</th></tr><tr><td rowspan="4">工学部</td><td>工学1類</td><td rowspan="4">30</td><td rowspan="4">50</td><td rowspan="4">50</td><td colspan="2">物理の領域</td><td rowspan="4">30</td><td rowspan="4">20</td><td rowspan="4">80</td><td rowspan="4">120</td><td rowspan="4">100</td></tr><tr><td>工学2類</td></tr><tr><td>工学3類</td></tr><tr><td>工学4類</td></tr><tr><td></td><td>工学5類</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">物理または化学の領域から1つ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">情報工学部</td><td>情工1類</td><td rowspan="3">30</td><td>55</td><td>45</td><td colspan="2" rowspan="3">物理、化学、生物の領域から1つ</td><td rowspan="3">30</td><td rowspan="3">20</td><td rowspan="3">80</td><td rowspan="3">120</td><td rowspan="3">100</td></tr><tr><td>情工2類</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>情工3類</td><td>45</td><td>55</td></tr></table>										学部	類	第1段階選抜						第2段階選抜			課題解決型記述問題	適性検査				レポート	学びの計画書	グループワーク	個人面接	数学	理科		英語	各々が指定する領域*		工学部	工学1類	30	50	50	物理の領域		30	20	80	120	100	工学2類	工学3類	工学4類		工学5類				物理または化学の領域から1つ							情報工学部	情工1類	30	55	45	物理、化学、生物の領域から1つ		30	20	80	120	100	情工2類	50	50	情工3類	45	55
	学部	類	第1段階選抜						第2段階選抜																																																																								
			課題解決型記述問題	適性検査				レポート	学びの計画書	グループワーク			個人面接																																																																				
				数学	理科		英語																																																																										
					各々が指定する領域*																																																																												
	工学部	工学1類	30	50	50	物理の領域		30	20	80	120	100																																																																					
		工学2類																																																																															
		工学3類																																																																															
		工学4類																																																																															
		工学5類				物理または化学の領域から1つ																																																																											
情報工学部	情工1類	30	55	45	物理、化学、生物の領域から1つ		30	20	80	120	100																																																																						
	情工2類		50	50																																																																													
	情工3類		45	55																																																																													
※ 指定する領域を受験していない類を志望することはできません。 ①学びの計画書(事前提出課題) 「大学入学後にどのようなことを学びたいか」について記述してもらい、記述内容を評価します。 ②グループワーク 与えられたテーマを基にグループ活動を行ってもらいます。活動後、個人で活動を振り返り、自己評価シートに記載してもらいます。活動への取り組み及び自己評価シートへの記載内容を評価します。 ③個人面接 第1段階選抜のレポートならびに課題解決型記述問題の答案、学びの計画書及び調査書等の記載内容を参考にしながら、双方向での質疑応答を行い、評価します。																																																																																	
第2段階選抜試験日	令和6年10月19日(土)または20日(日)のいずれか1日																																																																																
第2段階選抜試験場	本学工学部(戸畑キャンパス)																																																																																
合 格 発 表 日	令和6年11月 1日(金)																																																																																
そ の 他	・志望類は、第3志望まで選択できます。 出願時には第1志望の学部のみを選択し、第2段階選抜の受験時に第3志望まで志望類を選択します。その際、第1志望の類の選択は、第1志望の学部の類からのみですが、第2志望及び第3志望の類は第1志望と異なる学部からも選択できます。(例：出願時に第1志望を「工学部」とし、第2段階選抜の受験時に第1志望を工学部「工学2類」、第2志望に情報工学部「情工2類」を選択)ただし、第1志望から第3志望において、志望学部・類が指定する適性検査の理科の領域を受験していない場合、当該学部・類における可否判定の対象とはなりません。 ・入学後の学びとのつながりから、数学Ⅲ(理数科にあっては理数数学Ⅱ、高等専門学校にあっては数学Ⅲに相当する科目)を履修・学習していることが望ましいです。																																																																																

（２）総合Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

【工学部・情報工学部共通（ただし、学部名の記載がある項目は、当該学部の内容を示している。）】

募 集 人 員	工学部 工学１類 ４名 工学２類 ９名 工学３類 ４名 工学４類 ３名 工学５類 ３名	情報工学部 情工１類 ７名 情工２類 ４名 情工３類 ５名																									
出 願 資 格	次の①及び②に該当し、合格した場合、入学することを確認できる者 ① 高等学校、中等教育学校若しくは文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業（修了）した者及び令和 7 年 3 月卒業（修了）見込みの者または通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者及び令和 7 年 3 月修了見込みの者 ② 志望する学部が指定する令和 7 年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者																										
選考方法の概要	入学者の選考は、大学入学共通テストの成績，課題解決型記述問題（個人面接にて試問），グループワーク，個人面接，高校入学後の活動に関する記述及び調査書等を総合して行います。 2段階選抜 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合は，調査書及び高校入学後の活動に関する記述の合計点により，第 1 段階選抜を行うことがあります。																										
第 1 段 階 選 抜 選 考 方 法 等	第 1 段階選抜（300 点満点） 第 1 段階選抜では調査書及び高校入学後の活動に関する記述の書類選考により，可否を判定します。 ・評価項目及び配点（300 点満点） <table><tr><th>類</th><th>評価項目</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">全 類</td><td>調査書</td><td>1 0 0</td></tr><tr><td>高校入学後の活動に関する記述</td><td>2 0 0</td></tr></table> ①調査書 「全体」の学習成績の状況（評定平均値）を点数化します。 ②高校入学後の活動に関する記述 高校入学以降に志願者本人が取り組んだ 3 つの活動（学業における活動，探究活動，部活動，生徒会活動，ボランティア活動，留学・海外経験，取得資格・検定，各種大会・コンクールなど学内外での諸活動）を記述してもらい，評価します。なお，記述された活動が 2 つの場合は 150 点を満点，1 つの場合は 100 点を満点として評価します。		類	評価項目	配点	全 類	調査書	1 0 0	高校入学後の活動に関する記述	2 0 0																	
類	評価項目	配点																									
全 類	調査書	1 0 0																									
	高校入学後の活動に関する記述	2 0 0																									
出 願 期 間	令和 6 年 1 2 月 6 日（金）～1 3 日（金）																										
第 1 段 階 選 抜 合 格 発 表 日	令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）																										
第 2 段 階 選 抜 選 考 方 法 等	第 2 段階選抜（1,575 点満点） 第 1 段階選抜の得点は利用せず，第 2 段階選抜の得点のみで可否を判定します。 第 2 段階選抜では課題解決型記述問題，グループワーク及び個人面接を実施し，大学入学共通テストの成績と合わせて可否を判定します。ただし，各評価項目のいずれかの得点が著しく低い場合は，総合点にかかわらず，不合格となることがあります。 なお，課題解決型記述問題は，第 1 段階選抜の合格者のみが提出する事前提出課題とし，個人面接で試問します。 課題解決型記述問題の答案を所定の期日までに提出し，志望する学部・類が指定する大学入学共通テストの全教科・科目と，グループワーク及び個人面接をすべて受験しなければ，可否判定の対象とはなりません。 ・大学入学共通テストの指定教科・科目並びに配点（975 点）（6 教科 8 科目） <table><tr><th>学部</th><th>類</th><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="6">工 学 部</td><td rowspan="6">全 類</td><td>国語</td><td>「国語」</td><td>1 5 0</td></tr><tr><td>地歴 公民</td><td>「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」， 「公共，政治・経済」，「地理総合／歴史総合／ 公共」から 1 科目</td><td>5 0</td></tr><tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ，数学 A」と「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」</td><td>2 5 0</td></tr><tr><td>理科</td><td>「物理」と「化学」</td><td>2 5 0</td></tr><tr><td>外国語</td><td>「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」， 「中国語」，「韓国語」から 1 科目</td><td>2 5 0</td></tr><tr><td>情報</td><td>「情報Ⅰ」</td><td>2 5</td></tr></table>		学部	類	教科	科目	配点	工 学 部	全 類	国語	「国語」	1 5 0	地歴 公民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」， 「公共，政治・経済」，「地理総合／歴史総合／ 公共」から 1 科目	5 0	数学	「数学Ⅰ，数学 A」と「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」	2 5 0	理科	「物理」と「化学」	2 5 0	外国語	「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」， 「中国語」，「韓国語」から 1 科目	2 5 0	情報	「情報Ⅰ」	2 5
学部	類	教科	科目	配点																							
工 学 部	全 類	国語	「国語」	1 5 0																							
		地歴 公民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」， 「公共，政治・経済」，「地理総合／歴史総合／ 公共」から 1 科目	5 0																							
		数学	「数学Ⅰ，数学 A」と「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」	2 5 0																							
		理科	「物理」と「化学」	2 5 0																							
		外国語	「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」， 「中国語」，「韓国語」から 1 科目	2 5 0																							
		情報	「情報Ⅰ」	2 5																							

第 2 段階選抜
選考方法等

学部	類	教科	科目	配点		
				情工 1 類	情工 2 類	情工 3 類
情報工 学部	全 類	国語	「国語」	1 5 0		
		地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／ 公共」から 1 科目	5 0		
		数学	「数学Ⅰ, 数学A」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	2 7 5	2 5 0	2 2 5
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から 2 科目	2 2 5	2 5 0	2 7 5
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目	2 5 0		
		情報	「情報Ⅰ」	2 5		

- ※ 「国語」の配点内訳は、近代以降の文章 105 点、古文 22.5 点、漢文 22.5 点とします。
- ※ 「地歴・公民」において 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の得点を用います。なお、「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の 3 つの出題範囲のうちから、2 つの出題範囲を選択解答してください。
- ※ 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。大学入学共通テストの受験上の配慮以外の理由により、リスニングを受験しなかった者は無資格者となります。
- 「英語」の配点内訳は、リーディング 125 点、リスニング 125 点とします。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮によりリスニングを免除されて受験しなかった者については、リーディングの得点のみを利用（250 点満点として換算）します。

- ・英語資格・検定試験の利用について
出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21 ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。

- ・グループワーク及び個人面接の配点（600 点）

類	評価項目	配点
全類	グループワーク	3 0 0
	個人面接	3 0 0

①グループワーク

与えられたテーマを基にグループ活動を行ってもらいます。活動後、個人で活動を振り返り、自己評価シートに記載してもらいます。活動への取り組み及び自己評価シートへの記載内容を評価します。

②個人面接

「課題解決型記述問題（事前提出課題）※」の解答内容、調査書、高校入学後の活動に関する記述等を参考にしながら、双方向での質疑応答を行い、評価します。

※ 「課題解決型記述問題（事前提出課題）」では、小中学校で学ぶ理数に関わる内容をもとにした問題 1 つについて、図なども用いて解答してもらいます。問題文や表図により提示された内容を読みとり、結果・考察をまとめ、それらをもとに、指定された課題や授業等の実行・展開の計画を立案してもらいます。解答内容を個人面接で試問します。

第 2 段階選抜試験日 令和 7 年 2 月 8 日（土）または 9 日（日）のいずれか 1 日

第 2 段階選抜試験場 本学工学部（戸畑キャンパス）

合 格 発 表 日 令和 7 年 2 月 1 2 日（水）

そ の 他

- ・志望類は、第 3 志望まで選択できます。なお、第 2 志望及び第 3 志望の類は、第 1 志望の類と異なる学部からも選択できます。（例：第 1 志望が工学部「工学 2 類」で、第 2 志望が情報工学部「情工 2 類」など。）ただし、志望類が指定する大学入学共通テストの全教科・科目を受験していない場合、当該類における合否判定の対象とはなりません。
- ・本学の総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、第 1 段階選抜に合格となった場合は、本学工学部の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）には出願できません。
- ・入学後の学びとのつながりから、数学Ⅲ（理数科にあっては理数数学Ⅱ、高等専門学校にあっては数学Ⅲに相当する科目）を履修・学習していることが望ましいです。

(3) IB (国際バカロレア)

【工学部・情報工学部共通 (ただし、学部名の記載がある項目は、当該学部の内容を示している。)】

実施学部・類名 募 集 人 員	工学部 工学1類 工学2類 工学3類 工学4類 工学5類 } 若干名	情報工学部 情工1類 情工2類 情工3類 } 若干名																			
出 願 資 格	次の①及び②に該当する者 ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) を2023年4月から2025年3月までに授与された者もしくは授与される者 (見込みを含む) ※ 国際バカロレア資格を取得見込みで合格した者が、2025年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格 (入学) 取消となります。 ② 国際バカロレア資格取得において、次の (ア) 及び (イ) に該当する者 (ア) 日本語を母語とする者または日本語A・日本語Bのいずれかを履修し、成績評価が4以上の者 (イ) 志望する学部・類が指定する次表の科目を履修し、必要なレベル・成績評価を修めた者 <table><tr><th>学部</th><th>類</th><th>科目</th><th>レベル・成績評価等</th></tr><tr><td rowspan="5">工学部</td><td>工学1類</td><td rowspan="2">数学と物理</td><td rowspan="8">左記の指定科目において、以下の要件を満たすこと。 ・1科目はHL*成績評価4以上 ・他の科目はSL*成績評価4以上 またはHL*成績評価4以上であること。 ※HL=Higher Level ※SL=Standard Level</td></tr><tr><td>工学2類</td></tr><tr><td>工学3類</td><td rowspan="2">数学と化学</td></tr><tr><td>工学4類</td></tr><tr><td>工学5類</td><td>数学と物理と化学</td></tr><tr><td rowspan="3">情報工学部</td><td>情工1類</td><td rowspan="3">数学と 物理、化学、生物から1科目 (計2科目)</td></tr><tr><td>情工2類</td></tr><tr><td>情工3類</td></tr></table>		学部	類	科目	レベル・成績評価等	工学部	工学1類	数学と物理	左記の指定科目において、以下の要件を満たすこと。 ・1科目はHL*成績評価4以上 ・他の科目はSL*成績評価4以上 またはHL*成績評価4以上であること。 ※HL=Higher Level ※SL=Standard Level	工学2類	工学3類	数学と化学	工学4類	工学5類	数学と物理と化学	情報工学部	情工1類	数学と 物理、化学、生物から1科目 (計2科目)	情工2類	情工3類
学部	類	科目	レベル・成績評価等																		
工学部	工学1類	数学と物理	左記の指定科目において、以下の要件を満たすこと。 ・1科目はHL*成績評価4以上 ・他の科目はSL*成績評価4以上 またはHL*成績評価4以上であること。 ※HL=Higher Level ※SL=Standard Level																		
	工学2類																				
	工学3類	数学と化学																			
	工学4類																				
	工学5類	数学と物理と化学																			
情報工学部	情工1類	数学と 物理、化学、生物から1科目 (計2科目)																			
	情工2類																				
	情工3類																				
選 考 方 法 等	入学者の選考は、国際バカロレア資格取得成績、IBDP 成果物及び個人面接を総合して合否を判定します。ただし、各評価項目のいずれかの得点が著しく低い場合は、総合点にかかわらず、不合格となることがあります。 個人面接は原則オンライン面接とし、日本語にて行います。 ・評価項目及び配点 (1,250 点) <table><tr><th>学部</th><th>類</th><th>評価項目</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="4">全学部 全類</td><td rowspan="4"></td><td>国際バカロレア資格取得成績</td><td>700</td></tr><tr><td>IBDP 成果物 EE:Extended Essay TOK:Theory of Knowledge CAS:Creativity/Action/Service</td><td>300</td></tr><tr><td>個人面接</td><td>250</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ①国際バカロレア資格取得成績 国際バカロレア資格取得成績を利用して、評価します。特に数学、理科 (志望の学部・類が指定する科目) の成績を重視します。 ②IBDP 成果物 提出された EE, TOK の成果物ならびに CAS の概要を示したものを基に、評価します。 ③個人面接 IBDP 成果物を参考にした質疑応答を通して、評価します。		学部	類	評価項目	配点	全学部 全類		国際バカロレア資格取得成績	700	IBDP 成果物 EE:Extended Essay TOK:Theory of Knowledge CAS:Creativity/Action/Service	300	個人面接	250							
学部	類	評価項目	配点																		
全学部 全類		国際バカロレア資格取得成績	700																		
		IBDP 成果物 EE:Extended Essay TOK:Theory of Knowledge CAS:Creativity/Action/Service	300																		
		個人面接	250																		

出 願 期 間	令和7年 1月21日（火）～23日（木）
試 験 日	令和7年 2月 9日（日）
試 験 場	原則オンライン
合 格 発 表 日	令和7年 2月12日（水）
そ の 他	・志望類は第3志望まで選択できます。なお、第2志望及び第3志望の類は、第1志望と異なる学部からも選択できます。（例：第1志望が工学部「工学2類」で、第2志望が情報工学部「情工2類」など。）ただし、志望類が指定する国際バカロレア資格取得の理科の科目を履修し、必要なレベル・成績評価を修めていない場合、当該類における可否判定の対象とはなりません。 ・本学の学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）に出願する場合、及び本学の総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、第1段階選抜に合格となっている場合は、本学の総合型選抜（IB）には出願できません。

(4) 帰国生徒

【工学部】

募 集 人 員	工学1類 工学2類 工学3類 工学4類 工学5類 } 若干名																																			
出 願 資 格	日本の国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、次の①～⑥のいずれかに該当するもの ① 外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ② 外国において2年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校後期課程の第2学年または第3学年に編入学を認められた者で、2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業（修了）したもの及び卒業（修了）見込みのもの ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を2023年または2024年に授与された者 ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2023年または2024年に授与された者 ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を2023年または2024年に授与された者 ⑥ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「GCE-A レベル資格」という。）を2023年または2024年に取得した者 ※ GCE-A レベル資格の科目数等に関する要件：GCE-A レベル試験において1科目以上合格（E評価以上）																																			
選 考 方 法 等	入学者の選考は、大学入学共通テストを課さず、適性検査（英語、数学、理科）及び主体性等評価の結果を総合して行います。 ①適性検査（英語、数学、理科） 英語はタブレットを用いたCBT（Computer Based Testing）方式の選択式問題で、数学及び理科は個人面接における口頭試問により評価します。 ②主体性等評価 高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」（出願時に提出）の内容に関する書類審査、及び、個人面接における口頭試問により評価します。 ・評価項目及び配点（900点満点） <table><tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="4">適性検査</th><th>主体性等評価</th></tr><tr><th>CBT</th><th colspan="3">口頭試問</th><th rowspan="2">書類審査及び口頭試問</th></tr><tr><th>英語</th><th>数学</th><th colspan="2">理科</th></tr><tr><td>工学1類</td><td rowspan="4">150</td><td rowspan="2">300</td><td rowspan="2">300</td><td>物理の領域</td><td rowspan="4">150</td></tr><tr><td>工学2類</td><td></td></tr><tr><td>工学3類</td><td rowspan="2">250</td><td rowspan="2">350</td><td>化学の領域</td></tr><tr><td>工学4類</td><td></td></tr><tr><td>工学5類</td><td></td><td>300</td><td>300</td><td>物理または化学の領域</td><td></td></tr></table> ・英語資格・検定試験の利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。	類	適性検査				主体性等評価	CBT	口頭試問			書類審査及び口頭試問	英語	数学	理科		工学1類	150	300	300	物理の領域	150	工学2類		工学3類	250	350	化学の領域	工学4類		工学5類		300	300	物理または化学の領域	
類	適性検査				主体性等評価																															
	CBT		口頭試問			書類審査及び口頭試問																														
	英語	数学	理科																																	
工学1類	150	300	300	物理の領域	150																															
工学2類																																				
工学3類		250	350	化学の領域																																
工学4類																																				
工学5類		300	300	物理または化学の領域																																
出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～ 8日（金）																																			
試 験 日	令和6年11月28日（木）または29日（金）のいずれか1日																																			
試 験 場	本学工学部（戸畑キャンパス）																																			
合 格 発 表 日	令和6年12月 6日（金）																																			

【情報工学部】

募 集 人 員	情工1類 情工2類 情工3類	} 若干名																											
出 願 資 格	日本の国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、次の①～⑥のいずれかに該当するもの ① 外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ② 外国において2年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校後期課程の第2学年または第3学年に編入学を認められた者で、2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業（修了）したものと及び卒業（修了）見込みのもの ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を2023年または2024年に授与された者 ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2023年または2024年に授与された者 ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を2023年または2024年に授与された者 ⑥ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「GCE-A レベル資格」という。）を2023年または2024年に取得した者 ※ GCE-A レベル資格の科目数等に関する要件：GCE-A レベル試験において1科目以上合格（E評価以上）																												
選 考 方 法 等	入学者の選考は、大学入学共通テストを課さず、適性検査（英語、数学、理科）及び主体性等評価の結果を総合して行います。 ①適性検査（英語、数学、理科） 英語はタブレットを用いたCBT（Computer Based Testing）方式の選択式問題により評価します。数学及び理科は、タブレットを用いたCBT方式の選択式問題に加えて、個人面接における口頭試問により評価します。なお、理科は、インターネット出願登録時に物理、化学、生物の領域から1つを選択してください。 ②主体性等評価 インターネット出願登録時に入力した、高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する「主体性等申告」の内容に関する書類審査、及び、個人面接における「主体性等申告」等に関する口頭試問により評価します。 ・評価項目及び配点（950点満点） <table><tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="4">適性検査</th><th>主体性等評価</th></tr><tr><th>CBT</th><th colspan="3">CBT 及び口頭試問</th><th rowspan="2">書類審査及び口頭試問</th></tr><tr><th>英語</th><th>数学</th><th colspan="2">理科</th></tr><tr><td>情工1類</td><td rowspan="3">150</td><td>330</td><td>270</td><td rowspan="3">物理、化学、生物の領域から1つ選択</td><td rowspan="3">200</td></tr><tr><td>情工2類</td><td>300</td><td>300</td></tr><tr><td>情工3類</td><td>270</td><td>330</td></tr></table> ・英語資格・検定試験の利用について 出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。詳細は、21ページ「7. 英語資格・検定試験の利用」を参照してください。		類	適性検査				主体性等評価	CBT	CBT 及び口頭試問			書類審査及び口頭試問	英語	数学	理科		情工1類	150	330	270	物理、化学、生物の領域から1つ選択	200	情工2類	300	300	情工3類	270	330
類	適性検査				主体性等評価																								
	CBT	CBT 及び口頭試問			書類審査及び口頭試問																								
	英語	数学	理科																										
情工1類	150	330	270	物理、化学、生物の領域から1つ選択	200																								
情工2類		300	300																										
情工3類		270	330																										
出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～ 8日（金）																												
試 験 日	令和6年11月28日（木）または29日（金）のいずれか1日																												
試 験 場	本学情報工学部（飯塚キャンパス）																												
合 格 発 表 日	令和6年12月 6日（金）																												

5. 私費外国人留学生選抜

【工学部・情報工学部共通（ただし、学部名の記載がある項目は、当該学部の内容を示している。）】

実施学部・類名 募 集 人 員	工学部 工学1類 工学2類 工学3類 工学4類 工学5類 } 若干名	情報工学部 情工1類 情工2類 情工3類 } 若干名																																																													
出 願 資 格	独立行政法人日本学生支援機構が実施する2024年度「日本留学試験」の本学が指定する試験教科・科目及び本学が指定する英語資格・検定試験を受験し、次の①～③に該当する者 ① 日本国籍を有しない者 ② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、その他文部科学大臣の指定したもの ③ 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、または大学入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者 (注) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校または中等教育学校を卒業したもの(2025年3月卒業見込みのものを含む。)については、日本の一般生徒と同様に扱うため、私費外国人留学生選抜には出願できません。																																																														
選 考 方 法 等	入学者の選考は、大学入学共通テストを課さず、日本留学試験の成績、英語資格・検定試験の成績、本学が実施する個別学力検査及び個人面接を総合して可否を判定します。ただし、各評価項目のいずれかの得点が著しく低い場合は、総合点にかかわらず、不合格となることがあります。 なお、個別学力検査及び個人面接は、すべて日本語で実施します。 ①工学部の評価項目及び配点 (1,500点) <table><tr><th colspan="2">評 価 項 目</th><th>配点 (全類)</th></tr><tr><td rowspan="3">日本留学試験</td><td>日本語</td><td>150</td></tr><tr><td>数学 (コース2)</td><td>50</td></tr><tr><td>理科 (物理と化学)</td><td>50</td></tr><tr><td>英語資格・検定試験</td><td>資格・検定試験のスコア</td><td>250</td></tr><tr><td rowspan="2">個別学力検査</td><td>数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)</td><td>400</td></tr><tr><td>理科 (「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」)</td><td>400</td></tr><tr><td>個人面接</td><td></td><td>200</td></tr></table> ②情報工学部の評価項目及び配点 (1,500点) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">評 価 項 目</th><th colspan="3">配点</th></tr><tr><th>情工1類</th><th>情工2類</th><th>情工3類</th></tr><tr><td rowspan="3">日本留学試験</td><td>日本語</td><td colspan="3">150</td></tr><tr><td>数学 (コース2)</td><td colspan="3">50</td></tr><tr><td>理科 (物理, 化学, 生物から2科目)</td><td colspan="3">50</td></tr><tr><td>英語資格・検定試験</td><td>資格・検定試験のスコア</td><td colspan="3">250</td></tr><tr><td rowspan="2">個別学力検査</td><td>数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)</td><td>440</td><td>400</td><td>360</td></tr><tr><td>理科 (「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1科目)</td><td>360</td><td>400</td><td>440</td></tr><tr><td>個人面接</td><td></td><td colspan="3">200</td></tr></table> ※ 個別学力検査は、一般選抜 (前期日程) の個別学力検査と同一の試験問題となります。 ※ 令和7年度入学者選抜における個別学力検査の数学Bは「数列」, 数学Cは「ベクトル」, 「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。		評 価 項 目		配点 (全類)	日本留学試験	日本語	150	数学 (コース2)	50	理科 (物理と化学)	50	英語資格・検定試験	資格・検定試験のスコア	250	個別学力検査	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)	400	理科 (「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」)	400	個人面接		200	評 価 項 目		配点			情工1類	情工2類	情工3類	日本留学試験	日本語	150			数学 (コース2)	50			理科 (物理, 化学, 生物から2科目)	50			英語資格・検定試験	資格・検定試験のスコア	250			個別学力検査	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)	440	400	360	理科 (「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1科目)	360	400	440	個人面接		200		
評 価 項 目		配点 (全類)																																																													
日本留学試験	日本語	150																																																													
	数学 (コース2)	50																																																													
	理科 (物理と化学)	50																																																													
英語資格・検定試験	資格・検定試験のスコア	250																																																													
個別学力検査	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)	400																																																													
	理科 (「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」)	400																																																													
個人面接		200																																																													
評 価 項 目		配点																																																													
		情工1類	情工2類	情工3類																																																											
日本留学試験	日本語	150																																																													
	数学 (コース2)	50																																																													
	理科 (物理, 化学, 生物から2科目)	50																																																													
英語資格・検定試験	資格・検定試験のスコア	250																																																													
個別学力検査	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)	440	400	360																																																											
	理科 (「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1科目)	360	400	440																																																											
個人面接		200																																																													
出 願 期 間	令和7年 1月 6日 (月) ～ 10日 (金)																																																														
試 験 日	令和7年 2月25日 (火) 及び 26日 (水) の2日間																																																														
試 験 場	本学工学部 (戸畑キャンパス)																																																														
合 格 発 表 日	令和7年 3月 7日 (金)																																																														

6. 令和7年度入学者選抜における旧教育課程履修者等に対する経過措置について

旧教育課程履修者等に対する経過措置は次のとおりとします。

(1) 大学入学共通テストの科目

旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目に加えて、旧教育課程による出題科目を選択解答することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。本学における新教育課程と旧教育課程による出題教科・科目の対応は、下表のとおりです。

教科	新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目
地歴 公民※ ¹	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	「旧地理B」 「旧日本史B」 「旧世界史B」 「旧倫理、旧政治・経済」
数学	「数学Ⅰ、数学A」	「旧数学Ⅰ・旧数学A」
	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」 「旧簿記・会計※ ² 」（推薦Ⅱ及び総合Ⅱは選択不可） 「旧情報関係基礎※ ² 」（推薦Ⅱ及び総合Ⅱは選択不可）
情報	「情報Ⅰ」	「旧情報」

※1 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、第1解答科目が本学の指定する科目でない場合は、出願できません。

※2 数学の「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

(2) 新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

区分	定義
新教育課程履修者	次のいずれかに該当する者 ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者または修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者または修了見込者、外国の学校等修了者または修了見込者、在外教育施設修了者または修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

7. 英語資格・検定試験の利用

(1) 利用の要件等

利用を希望する場合は、インターネット出願登録時にスコアを入力した上で、当該スコアの公式な証明書を1つのみ提出してください。

利用できる英語資格・検定試験の種類は、下記「(2) 換算表」のとおりで、スコア証明書の有効期限にかかわらず、令和4年4月1日以降に受検（「英検」は二次試験）した公式（オフィシャル）スコアを有効とします。スコア証明書の準備にあたっては、各試験団体が公表している発行期間を事前に確認のうえ、出願前までに準備してください。

なお、私費外国人留学生選抜では、スコア証明書を必ず提出してください。

提出されたスコアを「(2) 換算表」に基づき換算したものを「換算点」とします。選抜区分ごとの換算点の利用方法は下表のとおりです。

選抜区分	換算点の利用方法
一般選抜（前期日程・後期日程） 学校推薦型選抜（推薦Ⅱ） 総合型選抜（総合Ⅱ）	換算した得点（換算点）と大学入学共通テストの「外国語」による得点（本学の「外国語」の配点に基づく得点）を比較し、換算点の方が高い場合は、大学入学共通テストの「外国語」による得点を換算点に置き換えます。なお、大学入学共通テストの「外国語」において、英語以外の言語を選択した場合でも同様の取り扱いとします。 ※ 注意事項 換算点にかかわらず、必ず大学入学共通テストの「外国語」を受験する必要があります。英語資格・検定試験を利用する場合でも、大学入学共通テストの「外国語」を受験しなかった場合、合否判定の対象とはなりませんので、注意してください。
学校推薦型選抜（推薦Ⅰ） 総合型選抜（総合Ⅰ・帰国生徒）	換算した得点（換算点）と本学が実施する適性検査（英語）の得点を比較し、換算点の方が高い場合は、適性検査（英語）の得点を換算点に置き換えます。 ※ 注意事項 換算点にかかわらず、必ず適性検査（英語）を受験する必要があります。英語資格・検定試験を利用する場合でも、適性検査（英語）を受験しなかった場合、合否判定の対象とはなりませんので、注意してください。
私費外国人留学生選抜	換算した得点（換算点）を「英語資格・検定試験」の得点とします。

(2) 換算表

各選抜における英語資格・検定試験のスコア換算表は以下のとおりです。

換算点				英検，英検S-CBT，英検S-Interview【注1】					GTEC (検定版) (CBT)	TOEIC (L&R) (S&W) 【注2】	TOEFL iBT 【注3】	TEAP	TEAP CBT	ケンブリッジ 英語検定	IELTS
前期日程 総合Ⅱ 私費外	後期日程 推薦Ⅱ	推薦Ⅰ 帰国生徒	総合Ⅰ	各受験級のCSEスコア判定対象範 囲											
				1 級	準 1 級	2 級	準 2 級	3 級							
250.0	200.0	150.0	120.0	2304以上	2304以上				1180以上	1560以上	72以上	309以上	600以上	160以上	5.5以上
237.5	190.0	142.5	114.0		2227	2227以上			1130	1420	65	292	563	155	
225.0	180.0	135.0	108.0		2150	2150			1080	1300	58	275	525	150	5.0
212.5	170.0	127.5	102.0		2065	2065			1030	1240	52	255	480	146	
200.0	160.0	120.0	96.0		1980	1980			980	1180	45	235	435	142	4.5
175.0	140.0	105.0	84.0			1950			930	1150	42	225	420	140	4.0
150.0	120.0	90.0	72.0			1900	1900以上		905	1030	36	207	385	136	
125.0	100.0	75.0	60.0			1850	1850		850	915	31	190	350	132	3.5
100.0	80.0	60.0	48.0			1790	1790		790	835	25	170	300	127	3.0
75.0	60.0	45.0	36.0			1728	1728		720	755	20	145	255	122	2.5
50.0	40.0	30.0	24.0				1700		680	625	16	135	235	120	2.0
25.0	20.0	15.0	12.0				1670	1670以上	650	595	13	115	195	118	1.5
0.0	0.0	0.0	0.0	2304未満	1980未満	1728未満	1670未満	1670未満	650未満	595未満	13未満	115未満	195未満	118未満	1.5未満

[注1] 英検はCSEスコアにより換算点の判定を行うが、各受験級の試験内容で判定可能とされている範囲のスコアを対象とする。

[注2] TOEIC (L&R) (S&W) は、TOEIC (S&W) のスコアを2.5倍にしてTOEIC (L&R) に合算したスコアで換算点を判定する。

[注3] TOEFL iBTは、Test Date スコアのみを利用対象とする。（MyBest スコアは利用しない。）

[注4] 表中のは換算点の対象外である。

[注5] 私費外国人留学生選抜において、換算点が0点のスコア等でも、出願可能である。

(3) スコア証明書提出における注意事項

① スコア証明書として、下表に示す各資格・検定試験の公式な証明書を出願時に1つのみ提出してください。

資格・検定試験名	提出する公式な証明書	原本または写しの別
実用英語技能検定（英検）	合格証明書，英検 CSE スコア証明書，個人成績表のいずれか ※CSE スコアにより換算点の判定を行うため，各受験級の可否は問わない ※合格証明書の場合は，和文または英文のいずれでも可	原本または写し
GTEC 検定版（Advanced, Basic, Core） GTEC CBT タイプ	Official Score Certificate ※SCORE REPORT 及び受検結果は不可	原本または写し
TOEIC Tests ※TOEIC (L&R) と (S&W) の両方のスコアが必要 ※IP テストは対象外	Official Score Certificate（紙の公式認定証）	原本
	Official Score Certificate（デジタル公式認定証）	写し ※QR コードが読取可能な PDF 版の印刷物
TOEFL iBT（Home Edition も可）	Official Score Reports ※TOEFL 事務局から大学への直接の送付 ※請求時の DI コードは「8000」	原本
TEAP, TEAP CBT	成績表	原本または写し
ケンブリッジ英語検定（リングスキルも可）	認定ステートメント，認定証，Test Report のいずれか	原本
IELTS	Test Report Form ※IELTS 事務局から大学への直接の送付 ※Test Report Form の送付にあたっては「電子送信」を指定	原本

② TOEFL iBT 及び IELTS のスコア利用を希望する場合，スコア証明書は志願者からの請求によって各試験団体から大学へ直接送付になるため，出願時に同封する必要はありませんが，出願期間内に証明書が本学に到着しない場合，当該スコアは利用できないことから，出願期間内に証明書が本学に到着するように，志願者自身で手続きを行ってください。

③ スコア証明書は，出願（選抜区分）毎に提出してください。（例えば，一般選抜前期日程と一般選抜後期日程の両方に出願する場合，各1通ずつ，合計2通のスコア証明書が必要です。）

④ スコア証明書の再発行手続きが間に合わないため原本を提出できない場合で，公式な証明書の写しがあり，出身学校等の校長が原本の写しであることを証明（以下「原本証明」※）できるときは，原本証明したものを原本の代わりに提出してください。

※ 原本証明は，当該写しが原本の写しに相違ない旨を記入し，証明のため学校長印を押印してください。なお，当該写しの表面に原本証明を行う余白がない場合は，裏面に記入・押印しても構いません。

⑤ 英検，GTEC 及び TEAP のスコアを利用する場合，当該試験の成績請求に関する必要事項（例：個人番号等）をインターネット出願登録時に入力することで，原本証明なしの写しの提出も可とします。この場合，必要に応じて，入力された情報を元に大学から試験実施団体に成績請求を行い，提出された写しと照合します。

⑥ TOEIC のデジタル公式認定証については，必要に応じて，提出された印刷物の QR コードを読み取り，発行元の確認などを行います。

⑦ 提出されたスコア証明書は返却しません。

⑧ スコア証明書を出願期限までに提出できない特別な事情がある場合は，相談に応じることがありますので，出願期限前に入試・教育接続課までお問い合わせください。

8. 障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談

障がい（下表参照）等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願前に、下記（3）の連絡先まで配慮に関する事前相談をしてください。

特に、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく、代筆解答を希望する者は、できるだけ早い時期に事前相談をしてください。

なお、大学入試センターに事前相談した者は、必ず下記（3）の連絡先にも事前相談をしてください。

区分	障がいの程度
視覚障がい者 （強度の弱視者を含む）	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のものまたは視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度のもの
聴覚障がい者 （強度の難聴者を含む）	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 （身体虚弱者を含む）	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

※ 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠

※ 上記に該当しない場合でも、日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験を希望する場合も、試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

※ 事前相談は障がいのある者等に本学で可能な対応についてあらかじめ双方で確認することで、受験及び修学にあたり、より良い方法等を実現するために行うもので、障がいのある者等の受験や修学を制限するものではありません。

（1）配慮に関する事前相談の期限

- ・総合型選抜（総合Ⅰ） 令和6年 8月 2日（金）まで
- ・学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）、総合型選抜（帰国生徒） 令和6年10月 4日（金）まで
- ・総合型選抜（総合Ⅱ） 令和6年11月15日（金）まで
- ・私費外国人留学生選抜 令和6年12月 6日（金）まで
- ・一般選抜、学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）、総合型選抜（IB） 令和7年 1月 6日（月）まで

※ 上記の期限後に受験及び修学上の配慮が必要となった場合にも、下記（3）の連絡先に必ず問い合わせてください。

※ 相談の内容や時期によっては、本学の試験日までに対応できず、受験上の配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

（2）配慮に関する事前相談の方法

下記（3）に連絡して事前相談申請書を請求し、必要事項を記入の上、診断書等を添付して送付してください。必要な場合は、本学において、志願者自身またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

（3）配慮に関する事前相談の連絡先及び送付先

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
九州工業大学入試・教育接続課入試係
電話 093-884-3056

9. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号により本学への入学を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願できます。該当する者で、本学の令和7年度入学者選抜への出願を希望する場合は、下記の要領に従って申請してください。

(1) 入学資格審査の対象者

高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

(2) 申請方法

九州工業大学入学資格認定交付申請書（別記様式第1）に必要事項を記入の上、以下の書類一式とともに申請してください。

- ①学習等の履歴書（別記様式第2）及び成績証明書
- ②当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
- ③当該学校の教育内容等を証明できるもの
- ④卒業証明書または卒業見込証明書
- ⑤返信用封筒（長形3号封筒に、申請者本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、434円分の郵便切手を貼ったもの）

(3) 申請期間及び申請書類の送付先等

入学資格審査を受けようとする者は、選抜区分に応じて、以下のとおり申請してください。

①総合型選抜（総合Ⅰ）

令和6年7月31日（水）までに申請（郵送または持参）してください。

（郵送の場合も令和6年7月31日（水）必着）

②一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年8月30日（金）までに申請（郵送または持参）してください。

（郵送の場合も令和6年8月30日（金）必着）

ただし、大学入学共通テストを受験した者で、受験後に本学の入学資格審査を受けようとするものは、令和7年1月24日（金）までに申請してください。（郵送の場合も令和7年1月24日（金）必着）

なお、郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定交付申請」と朱書きしてください。

送付先：〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
九州工業大学入試・教育接続課入試係

(4) 入学資格審査の結果

選抜区分に応じて、以下のとおり通知します。

①総合型選抜（総合Ⅰ）

令和6年8月30日（金）までに郵送により結果を通知します。

②一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年8月30日（金）までの申請については、令和6年9月30日（月）までに郵送により結果を通知します。

大学入学共通テスト受験後の申請については、受理後速やかに入学資格審査を実施し、郵送により結果を通知します。

(5) 九州工業大学入学者選抜への出願について

「九州工業大学入学資格認定書」の交付を受けて出願する場合は、必ず「九州工業大学入学資格認定書」の写しを提出してください。

(6) その他

学校教育法施行規則第150条第6号により入学を希望する者についても、上記に準じて取り扱うこととします。

九州工業大学入学資格認定交付申請書

令和 年 月 日

九州工業大学長 殿

氏 名

生年月日

現 住 所

令和 7 年度九州工業大学入学者選抜の入学資格認定を受けたいので、下記書類を添えて申請します。

記

〔添付書類〕

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

学 習 等 の 履 歴 書

令和 年 月 日現在

申請者氏名	ふりがな	
生 年 月 日	西暦 年 月 日生（満 歳）	
現住所 〒（ — ）		
電話番号 — —	携帯電話番号 — —	
連絡先 〒（ — ）		
電話番号 — —	携帯電話番号 — —	
履 歴 学習歴・資格（小学校卒業以降について記入してください。）		
西暦 年 月	小 学 校 卒 業	
西暦 年 月	中 学 校 入 学	
西暦 年 月	中 学 校 卒 業	

10. 入学者選抜に係る情報開示

令和7年度入学者選抜に係る情報（出願手続，採点・評価基準，合否判定基準，個人の成績開示等）に関する詳細は，各選抜の学生募集要項にてお知らせします。

その他，以下の情報を本学ホームページに公表していますので，必要に応じて参照してください。

○過去の入学者選抜実施結果

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-entrance.html>



○過去の入試問題，解答例，出題の意図等（一部の選抜を除く）

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-past-examination.html>



○各選抜のページ

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/faculty.html>



11. 安全保障輸出管理

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

なお，詳細については，下記のホームページを参照してください。

○九州工業大学安全保障輸出管理

<https://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>



12. 学生募集要項等の入手方法及び公表時期

(1) 入手方法

大学案内，入学者選抜要項，各学生募集要項の入手方法は以下のとおりです。

I 本学のホームページから電子媒体をダウンロード

本学ホームページの入試資料請求ページからダウンロードできます。

○入試資料請求ページ

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-inquiry.html>



II 印刷した冊子体（大学案内及び入学者選抜要項のみ対象）を請求

① 本学のホームページから「テレメール」，「モバっちょ」で請求する場合

本学ホームページの入試資料請求ページから，「テレメールで資料請求」，「モバっちょで資料請求」のリンクをクリックすると，そこから必要な資料が請求できます。

○入試資料請求ページ

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-inquiry.html>



② 九州工業大学入試・教育接続課窓口で受け取る場合

月曜日～金曜日（ただし，祝日等を除く。）の8時30分から17時15分までの間に戸畑キャンパス入試・教育接続課において受領してください。（無料）

九州工業大学入試・教育接続課（戸畑キャンパス正門入って左手にある本部棟1階）

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056

※ 学生募集要項は，本学ホームページから電子媒体（PDF ファイル形式）をダウンロードして入手してください。（印刷した冊子体の配布は行っていません。）

(2) 公表時期

大学案内，入学者選抜要項，各学生募集要項の公表時期は以下のとおりです。

- | | | |
|-------------------------|------------------|--------|
| ○ 大学案内 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 公表・配布中 |
| ○ 入学者選抜要項（本冊子） | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 公表・配布中 |
| ○ 総合型選抜（総合Ⅰ）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 7月中旬 |
| ○ 学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 9月中旬 |
| ○ 学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 9月中旬 |
| ○ 総合型選抜（帰国生徒）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 9月中旬 |
| ○ 総合型選抜（総合Ⅱ）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 10月下旬 |
| ○ 総合型選抜（IB）学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 10月下旬 |
| ○ 私費外国人留学生選抜学生募集要項 | ・・・・・・・・ | 10月下旬 |
| ○ 一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項 | ・・・ | 10月下旬 |

13. 各学部のアドミッションポリシー

(1) 工 学 部

【技術者としての育成目標・求める人物像】

工学部は大学開学以来の学部で、110年を超える歴史をもちます。建学の精神である「技術に堪能なる士君子」、安川敬一郎氏の「鍊心壯膽（胆）」に象徴される理念が今も伝統として残るとともに、その精神は工学部の専門教育の中で知識と技術の修得とともに育まれてきました。

工学部では大学全体の入学者受入方針に加え、110年を超える歴史と伝統に基づく「ものづくり」をキーワードとして、建設社会工学科、機械知能工学科、宇宙システム工学科、電気電子工学科、応用化学科、マテリアル工学科の6学科それぞれの分野において、高度な専門技術を身につけた人材を養成します。

工学は各専門領域の工学体系において、より効率的に、快適に、高度利用することをめざした学問です。工学部は、これからの地球や生活環境に調和した技術を創出し、社会に貢献する人を世に送り出すために、幅広い教養、豊かな人間性、技術者としての高い倫理観、そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで、工学部が入学時点で入学者にもってほしいと期待する素養や能力は以下のとおりです。

- (1) 数学、理科（物理・化学）を学ぶことが好きで、それらの基礎学力をもつ人
- (2) ものづくりに興味があり、工学における高度で幅広い知識を修得する意欲と工学にかかわる問題の解決に情熱をもって取り組める人
- (3) 自己の向上をめざすさまざまな活動に主体的に参加して、多様な知識を吸収し、自信に満ちた意思を伝えることができる人
- (4) ものづくりやシステムの構築に協働して取り組むことを好み、最後までやりとげる意欲をもつ人

本学部での授業内容を理解するために、高等学校等における数学と理科（物理・化学）を特に学んでおくことを望みます。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程）

数学・理科全般に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う選抜です。そのために、大学入学共通テストで主に(1)を、個別学力検査で主に(1)、(2)を評価します。

具体的には、大学入学共通テストと個別学力検査の成績及び調査書等により、総合的に学力の優れた能力を示す学生を受け入れます。調査書等により学習状況等を把握した上で、大学入学共通テストでは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の6教科8科目を課し、幅広く基礎学力を測るとともに、数学、理科（物理と化学）の2教科3科目については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力及び論述力もあわせて評価します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。大学入学共通テストの得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

一般選抜（後期日程）

数学・理科の特定科目に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う選抜です。そのために、大学入学共通テストで主に(1)を、個別学力検査で主に(1)、(2)を評価します。

具体的には、大学入学共通テストと個別学力検査の成績及び調査書により、特に、数学若しくは理科の特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。調査書により学習状況を把握した上で、大学入学共通テストでは、国語、数学、理科、外国語、情報の5教科7科目を課し、これまで身につけた基礎学力とその到達度を評価します。個別学力検査については、数学、物理、化学のうちから1科目のみを選択させることによって特定の科目について高い思考力を有するかどうかを重視します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲から、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。これらの評価を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）

論理的なコミュニケーション力をもち、理数系基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、適性検査（個人面接及びCBT）で主に(1)、(2)を、主体性等評価（書類審査及び個人面接）で(3)、(4)を、調査書で主に(1)を評価します。

具体的には、面接及びCBT（Computer Based Testing）を用いた適性検査（基礎的学力の評価）、書類審査及び面接をもとにした主体性等に関する評価の結果、調査書に基づき選抜を実施します。面接試験では、高等学校の学習で理解できる「数学及び理科」の基礎的問題についての口頭試問により、その理解度（論理性、計算力、表現力を含む）を確認するとともに、主体性等を含む工学分野の学びに対する適性（科学・技術に対する興味や意欲、専門に対する適性、自律的かつ対話的な学習態度など）や自分の考えの表現力について調査書、推薦書及び主体性等申告書の内容とあわせて評価します。いずれも論理的な対話能力の評価を含みます。英語分野の適性（基礎的学力）はCBTにより評価します。調査書については、「全体」又は「数学及び理科」の評定平均値が高い方を点数化します。これらを総合した評価の総得点の高い順に合格者を決定します。

学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）

工学分野への興味や関心をもち、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う選抜です。そのために、大学入学共通テスト及び調査書で主に(1)を、主体性等申告書で主に(3)、(4)を評価します。

具体的には、大学入学共通テスト成績、調査書及び主体性等申告書による総合評価により、科学と技術に対して強い興味や学習意欲をもつ学生を受け入れます。個別学力検査及び面接試験を課さず、大学入学共通テストでは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の6教科8科目を課し、これまで身につけた幅広い基礎学力とその到達度を評価します。調査書については、学習状況を把握した上で、全体の評定平均値を数値化し、主体性等申告書は記載内容をもとに学びに対する主体的な態度等を評価します。これらの評価結果を総合し、総得点の高い順に合格者を決定します。

総合型選抜（総合Ⅰ）

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行うことができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる基礎的な知識・技能に加え、情報を他者へ伝えるためにまとめる力をもちつつ、学習機会やグループ活動においてリーダーシップやフォローシップなど、個々の役割を果たすことができるスキル・態度を持つ学生を選抜します。そのために、大学講義等のレポートで主に(2)、(3)を、課題解決型記述問題で主に(1)、(2)を、学びの計画書で主に(2)、(3)を、適性検査で主に(1)を、個人面接で主に(2)、(3)を、グループワークで主に(3)、(4)を評価します。

具体的には、第一に、大学講義等のレポート、課題解決型記述問題及び学びの計画書の作成を課すことにより、聴いた内容を理解しようとする姿勢、整理のために情報を取捨選択する判断力や、物事に対して論理的に思考し、それを他者に向けて表現できる力が身につけていることを評価します。第二に、適性検査及び個人面接、グループワーク、調査書等により、工学的な適性や主体的・協働的に多様な人々と学ぶためのスキル・態度が身につけていることを評価します。これらの評価を総合し、合格者を決定します。

総合型選抜（総合Ⅱ）

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行うことができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる知識・技能をもちつつ、学習機会やグループ活動において中心的な役割を果たす事ができるスキル・態度を持つ学生を選抜します。そのために、個人面接で主に(2)、(3)を、グループワークで主に(3)、(4)を、課題解決型記述問題で主に(1)、(2)を、調査書で主に(1)を、高校入学後の活動に関する記述で主に(2)、(3)を、大学入学共通テストで主に(1)を評価します。

具体的には、第一に、個人面接及びグループワーク、課題解決型記述問題、調査書、高校入学後の活動に関する記述等を総合的に評価する総合選抜方式により、主体的・協働的な学びを行う為のスキルと態度、及び、論理的な思考能力、表現力が身につけていることを評価します。第二に、大学入学共通テスト（6教科8科目）を利用し、工学の分野において必要となる、理数の知識・技能及び論理的思考能力があることを評価します。これら二者を総合して、合格者を決定します。

総合型選抜（IB）-国際バカロレア-

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行う事ができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる知識・技術をもちつつ、学習機会やグループ活動において活躍できるスキル、態度を持つ学生を選抜するため、グローバル化に対応し、主体的に学び考える力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力、論理的思考力、課題発見・解決能力等を育成する国際バカロレア資格取得者を対象とする選抜です。そのために、国際バカロレア資格取得の総合成績で主に(1)を、コア科目における成果物で主に(3)、(4)を、個人面接で主に(2)、(3)を評価します。

具体的には、国際バカロレア資格取得の総合成績（特に数学、理科の成績を重視）、日本語（日本語を母語とする者を除く）の指定する科目の成績ならびにコア科目における成果物及び個人面接により、多面的・総合的に評価し、合格者を決定します。

総合型選抜（帰国生徒）

外国での修学経験をもち、数学・理科・英語などの基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、適性検査（個人面接及びCBT）で主に(1)、(2)を、主体性等評価（書類審査及び個人面接）で主に(3)、(4)を評価します。

具体的には、様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、適性検査として英語に関する基礎的学力をCBT（Computer Based Testing）で確認します。また、面接試験（数学・理科に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む）及び出願書類審査によって、入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに、主体性等申告書の内容も参考しながら、工学に対する適性を評価します。

私費外国人留学生選抜

外国籍を有するもので、日本語能力、基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、日本留学試験及び英語外部検定試験で主に(1)を、個別学力検査で主に(1)、(2)を、個人面接で主に(3)、(4)を評価します。

具体的には、数学、理科（物理と化学）の2教科3科目については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力、論述力及び日本語能力もあわせて評価します。また、個別学力検査において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲、理科は物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、日本留学試験、英語外部検定試験の成績、個別学力検査の成績及び面接試験によって、多面的・総合的に評価し、合格者を決定します。

（類別の育成目標・求める人物像）

工学1類

【技術者としての育成目標】

建築・国土デザイン系の学問の基礎を学び、建設社会工学科へ進級する類型です。「豊かな生活空間及び都市・建築の創造」、「災害に強い社会基盤の建設と運用・維持管理」に関する知識・技術を修得し、安心と豊かさを実感できる国土及び安全快適で環境と調和した社会基盤施設や建築物をつくり、それらを通じて持続可能な社会の形成に貢献できる、人間性豊かな高度技術者の育成をめざしています。

【求める人物像】

理数系科目に興味があり、数学と理科（理科の中では、特に、物理）に関して高い能力と関心をもつ人

建築・国土デザイン分野に興味があり、種々の建築物及び社会基盤施設の安心・安全な設計・施工技術や都市・地域における持続可能な「まちづくり」に高い関心をもち、能動的に学修に取り組む意欲のある人

工学2類

【技術者としての育成目標】

機械・制御系の学問の基礎を学び、機械知能工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。身の回りで起こる様々な自然現象を支配する原理や力学法則を理解し、その知識を活用して人類の幸福や自然との共生、先進的な宇宙利用に役立つ「もの」をつくることができ、広い視野をもって時代の変化に柔軟に対応できる能力を備えた高度技術者の育成と、宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成、研究開発、製造、運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

【求める人物像】

機械・制御・宇宙工学分野に関心があり、主体的に学修に取り組み楽しむことができる人

専門性を基礎として新たな価値の実現にチャレンジし続ける人

国際性を身につけ、高い見識と品格を有する高度技術者たらんと努力する人

工学3類

【技術者としての育成目標】

電気・電子・通信系の学問を修得するために必要となる基礎科目を学び、電気電子工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。電力、電気電子材料、電子回路・機器とそれらを結ぶシステム技術を含む幅広い知識と技術を修得し、電気に関連した技術を利用する全ての産業・社会分野において、創意を発揮し、あらたな技術の開発、「もの」やシステムを創出できる行動力のある高度技術者の育成と、宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成、研究開発、製造、運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

【求める人物像】

電気・電子・通信・宇宙工学分野に関心をもつ人

将来、電気エネルギーを高度に利用するためのシステム、機能材料や電子機器の設計、さらに電気の学問分野に関連する光、音、波の要素技術、それらと高度情報処理技術を融合した次世代のコンセプトの創出に取り組める素養の形成に能動的に取り組める人

工学4類

【技術者としての育成目標】

化学系の学問の基礎を学び、応用化学科へ進級する類型です。有機化学，無機化学，物理化学，化学工学の基礎知識を学び、環境，エネルギー，バイオ，医薬などにかかわる新材料の合成から化学プラントの設計まで，化学に関する幅広い知識・技術を修得して，人類と地球に優しい新しい物質を作り出し，未来の社会に貢献できる高度技術者の育成をめざしています。

【求める人物像】

理数系科目に興味があり，特に化学に関して高い能力と関心をもつ人

エネルギー，環境，バイオ，医療などに貢献する新材料をつくり出し，先端産業の発展に貢献したい人

化学技術や新物質が自然や社会に及ぼす影響を考え，新しい工業生産技術・方法を開発したい人

工学5類

【技術者としての育成目標】

マテリアル系の学問の基礎を学び，マテリアル工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。鉄鋼，合金，半導体，セラミックス，複合材料など「もの」の性能を決定するマテリアルの構造と性質を科学的に解明し，新しいマテリアルを設計製造するなど，高度な材料開発とともに，資源，リサイクル，エネルギー問題にも取り組むことができる高度技術者の育成と，材料分野に興味を持ちつつ宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成，研究開発，製造，運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

【求める人物像】

マテリアル工学・宇宙工学分野に関心があつて，数学，理科などに関する基礎学力を身につけており，能動的に学修に取り組む意欲をもつ人

それに加えて，自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲があり，倫理観を身につけチャレンジ精神に満ちた技術者をめざす人

(2) 情報工学部

【技術者としての育成目標・求める人物像】

情報工学部は、昭和61年（1986年）に日本初の情報工学部として設置されました。以来、1万人を超える情報通信技術者を生みだし、卒業生は、様々な分野で日本の情報通信革命を支えてきました。

本学の入学者受入方針に加え、特に、「情報」をキーワードとして、知能情報工学科、情報・通信工学科、知的システム工学科、物理情報工学科、生命化学情報工学科の5学科のそれぞれの分野において、高度な専門技術を身につけた人材を養成します。そのため、将来の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎学力と情報化社会をリードする専門性を身につける教育を各学科において行います。さらに、「技術に堪能なる士君子」という本学の建学の精神のもとに、幅広い教養や豊かな人間性、技術者としての高い倫理観、そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで、情報工学部では、次のような素養と能力をもつ人材を求めます。

- (1) 数学、理科（物理、化学、生物等）、情報などの理数系科目の基礎学力をもつ人
- (2) 科学と技術、特に情報工学及びそれを用いた先端技術に興味があり、それらを用いて世の中を変えていくことや社会の問題を解決することに強い関心と意欲をもつ人
- (3) 国際社会と文化に興味と関心をもち、グローバル化に対応するコミュニケーション能力の修得に意欲をもつ人
- (4) ものごとを論理的に表現でき、自律的に学び、多様な人々と協働して活動する態度を身につけている人

本学部での授業内容を理解するために、高等学校等における数学と理科を特に学んでおくことを望みます。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程）

数学・理科全般に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な学力を問う選抜です。そのために、大学入学共通テストで主に(1)、(3)を、個別学力検査で主に(1)を評価します。

具体的には、大学入学共通テストと個別学力検査の成績及び調査書等により、総合的に学力の優れた学生を受け入れます。調査書等により学習状況等を把握した上で、大学入学共通テストにおいて、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の6教科8科目を課し、幅広く基礎学力を測るとともに、数学、理科（物理、化学若しくは生物のうち1科目）の2教科については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力及び論述力もあわせて評価します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の範囲を問います。大学入学共通テストの得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。総合点において、情工1類では数学の配点比率を高く、情工2類では、数学と理科の比率を同率に、情工3類では、理科の配点比率を高くするようにして評価します。

一般選抜（後期日程）

数学・理科の特定科目に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う選抜です。そのために、大学入学共通テストで主に(1)、(3)を、個別学力検査で主に(1)を評価します。

具体的には、大学入学共通テストと個別学力検査の成績及び調査書により、特に、数学若しくは理科の特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。調査書により学習状況を把握した上で、大学入学共通テストでは、国語、数学、理科、外国語、情報の5教科7科目を課し、これまで身につけた基礎学力とその到達度を評価します。大学入学共通テストの配点において、情工1類では、数学の配点比率を高く、情工2類では、数学と理科の比率を同率に、情工3類では、理科の配点比率を高くするようにして評価します。個別学力検査については、数学、物理、化学のうちから1科目のみを選択させることによって、特定の科目について高い思考力を有するかどうかを重視します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。これらの評価を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）

論理的なコミュニケーション力をもち、理数系基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、適性検査で主に(1)、(3)を、主体性等評価で主に(2)、(4)を、調査書で主に(1)を評価します。

具体的には、CBT（Computer Based Testing）及び面接による適性検査（基礎的学力の評価）、面接及び「主体性等申告」の入力内容（書類審査）による主体性等に関する評価の結果、調査書に基づき選抜を実施します。CBTによる適性検査では、英語、数学及びインターネット出願登録時に選択した理科科目に関する基礎的学力の評価を実施します。さらに面接試験では、個人面接により、「主体性等申告」の内容と「適性検査のうち数学及び理科」に関する口頭試問を実施し、適性や自律的な学習態度及び基礎的学力などを評価します。いずれも面接における会話を通じた論理的な対話能力の評価を含みます。調査書は、学習状況を把握した上で、評定平均値を点数化します。

これらの評価を総合し総得点の高い順に合格者を決定します。

なお、高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者における数学の適性検査については、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」の出題科目を、「プログラミング技術（教科名：工業）」、「プログラミング（教科名：商業）」、「情報システムのプログラミング（教科名：情報）」、「数学Ⅰ・数学A」のいずれかに代えることができます。

総合型選抜（総合Ⅰ）

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行うことができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる基礎的な知識・技能に加え、情報を他者へ伝えるためにまとめる力をもちつつ、学習機会やグループ活動においてリーダーシップやフォローシップなど、個々の役割を果たすことができるスキル・態度を持つ学生を選抜します。そのために、大学講義等のレポートで主に(2)、(4)を、課題解決型記述問題で主に(1)、(2)を、学びの計画書で主に(2)、(4)を、適性検査で主に(1)、(3)を、個人面接で主に(2)、(4)を、グループワークで主に(4)を評価します。

具体的には、第一に、大学講義等のレポート、課題解決型記述問題及び学びの計画書の作成を課すことにより、聴いた内容を理解しようとする姿勢、整理のために情報を取捨選択する判断力や、物事に対して論理的に思考し、それを他者に向けて表現できる力が身につけていることを評価します。第二に、適性検査及び個人面接、グループワーク、調査書等により、工学的な適性や主体的・協働的に多様な人々と学ぶためのスキル・態度が身につけていることを評価します。これらの評価を総合し、合格者を決定します。

総合型選抜（総合Ⅱ）

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行うことができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる知識・技能をもちつつ、学習機会やグループ活動において中心的な役割を果たす事ができるスキル・態度を持つ学生を選抜します。そのために、個人面接で主に(2)、(4)を、グループワークで主に(4)を、課題解決型記述問題で主に(1)、(2)を、調査書で主に(1)、(3)を、高校入学後の活動に関する記述で主に(2)、(4)を、大学入学共通テストで主に(1)、(3)を評価します。

具体的には、第一に、個人面接及びグループワーク、課題解決型記述問題、調査書、高校入学後の活動に関する記述等を総合的に評価する総合選抜方式により、主体的・協働的な学びを行う為のスキルと態度、及び、論理的な思考能力、表現力が身につけていることを評価します。第二に、大学入学共通テスト（6教科8科目）を利用し、工学の分野において必要となる、理数の知識・技能及び論理的思考能力があることを評価します。これら二者を総合して、合格者を決定します。

総合型選抜（IB） -国際バカロレア-

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行う事ができる態度を身につけることを目指す本学の GCE（Global Competency for Engineer）教育の中で、工学・情報工学に適用できる知識・技術をもちつつ、学習機会やグループ活動において活躍できるスキル、態度を持つ学生を選抜するため、グローバル化に対応し、主体的に学び考える力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力、論理的思考力、課題発見・解決能力等を育成する国際バカロレア資格取得者を対象とする選抜です。そのために、国際バカロレア資格取得の総合成績で主に(1)、(3)を、コア科目における成果物で主に(3)、(4)を、個人面接で主に(2)、(4)を評価します。

具体的には、国際バカロレア資格取得の総合成績（特に数学、理科の成績を重視）、日本語（日本語を母語とする者を除く）の指定する科目の成績ならびにコア科目における成果物及び個人面接により、多面的・総合的に評価し、合格者を決定します。

総合型選抜（帰国生徒）

外国での修学経験をもち、数学・理科・英語などの基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、適性検査で主に(1)、(3)を、主体性等評価で主に(2)、(4)を評価します。

具体的には、様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、数学・理科・英語に関する基礎的学力をCBT（Computer Based Testing）及び面接（数学及び理科）による適性検査で確認し、主体性等に関する評価を面接及び「主体性等申告」の入力内容（書類審査）で確認します。また、面接試験においては、「主体性等申告」の内容と「適性検査のうち数学及び理科」の口頭試問により、学びに対する主体的な態度の有無や適性等を確認します。これらと出願書類の審査を合わせて、入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに、専門に対する適性を評価します。

私費外国人留学生選抜

外国籍を有するもので、日本語能力、基礎学力を有することを問う選抜です。そのために、日本留学試験で主に(1)を、英語外部検定試験で主に(3)を、個別学力検査で主に(1)を、個人面接で主に(2)、(4)を評価します。

具体的には、数学、理科（物理、化学、生物のうち1科目）の2教科については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力、論述力及び日本語能力もあわせて評価します。また、個別学力検査において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの範囲、理科は物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の範囲を問います。様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、日本留学試験、英語外部検定試験の成績、個別学力検査の成績及び面接試験によって、多面的・総合的に評価し、合格者を決定します。

（類別の育成目標・求める人物像）

情工1類

【技術者としての育成目標】

情報工学の基礎を学び、知能情報工学科や情報・通信工学科へ進級する類型です。データ科学、人工知能、メディア情報学、ソフトウェアデザイン、情報通信ネットワーク、コンピュータ工学を中心とした情報工学の最先端に関する幅広い知識・技能を育成することで、社会の様々な要求にこたえる情報システムを構築できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

【求める人物像】

理数系科目に興味があり、特に数学に関して高い能力と関心をもつ人

情報工学を通して、人とコンピュータが協調する新しい情報システムの実現に意欲的に取り組み、コンピュータと通信を駆使した次世代スマート社会の実現に興味をもつ人

情工2類

【技術者としての育成目標】

情報工学の基礎を学び、知的システム工学科を中心として情報工学部の全学科へ進級できる類型です。機械工学と制御工学を中心として、主として工学の諸分野と情報工学を融合することで、ロボティクス、システム制御、先進機械を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで、新しい情報技術を創出できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

【求める人物像】

理数系科目に興味があり、数学と理科のいずれにも能力と関心をもつ人

情報工学と工学諸分野の融合やそれによる社会に及ぼす影響に深い関心を持ち、人と未来を繋ぐ知的システムの創造に興味をもつ人

情工3類

【技術者としての育成目標】

情報工学の基礎を学び、物理情報工学科や生命化学情報工学科へ進級する類型です。物理学、化学、生物学といった自然科学に情報工学を適用し、電子物理工学、生物物理工学、分子生命工学、医用生命工学を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで、新しい情報技術を創出できる総合的な能力を身につけた高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

【求める人物像】

理数系の科目に興味があり、特に理科に関して高い能力と関心をもつ人

情報工学の自然科学への応用に深い関心を持ち、物理学・化学・生物学と情報の力で世界を解き明かすことによりイノベーションを創出したい人

◆令和6年度入学選抜実施状況

	学校推薦型選抜Ⅰ						学校推薦型選抜Ⅱ					総合型選抜Ⅰ													
	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者	募集人員	性別	志願者	合格者	入学者	募集人員	志願者	性別	第1段階選抜		第2段階選抜		入学者						
類																									
工学1類	14	男	28	28	9	9	4	男	13	3	3	5	79	男	62	42	7	2	2						
		女	11	11	5	5		女	4	1	1						4	3	3						
工学2類	30	男	79	78	26	26	6	男	13	5	5	9								20	7	7			
		女	9	9	4	4		女	3	1	1						2	2	2						
工学3類	32	男	49	49	24	24	4	男	9	2	2	6								8	6	6			
		女	9	9	8	8		女	4	3	3			1	0	0									
工学4類	15	男	21	21	8	8	4	男	2	2	2	3		女	17	10	1	0	0						
		女	17	17	7	7		女	6	2	2						3	3	3						
工学5類	13	男	24	24	11	11	3	男	6	2	2	3								6	3	3			
		女	2	2	2	2		女	2	2	2						0	0	0						
小計	104	男	201	200	78	78	21	男	43	14	14	26					62	男	62	42	42	18	18		
		女	48	48	26	26		女	19	9	9			17	女	17	10	10	8	8					
情工1類	35	男	96	96	26	26						8	100	男	67	25	16	7	7						
		女	24	24	9	9													3	1	1				
情工2類	23	男	43	43	20	20						4								6	4	4			
		女	6	6	3	3						6		女	32	11	1	0	0						
情工3類	25	男	20	20	16	16														3	2	2			
		女	23	23	9	9														7	4	4			
小計	83	男	159	159	62	62											18	68	男	67	25	25	13	13	
		女	53	53	21	21														32	女	32	11	11	5
合計	187	男	360	359	140	140	21	男	43	14	14	44		130	男	129	67	67	31	31					
		女	101	101	47	47		女	19	9	9			49	女	49	21	21	13	13					

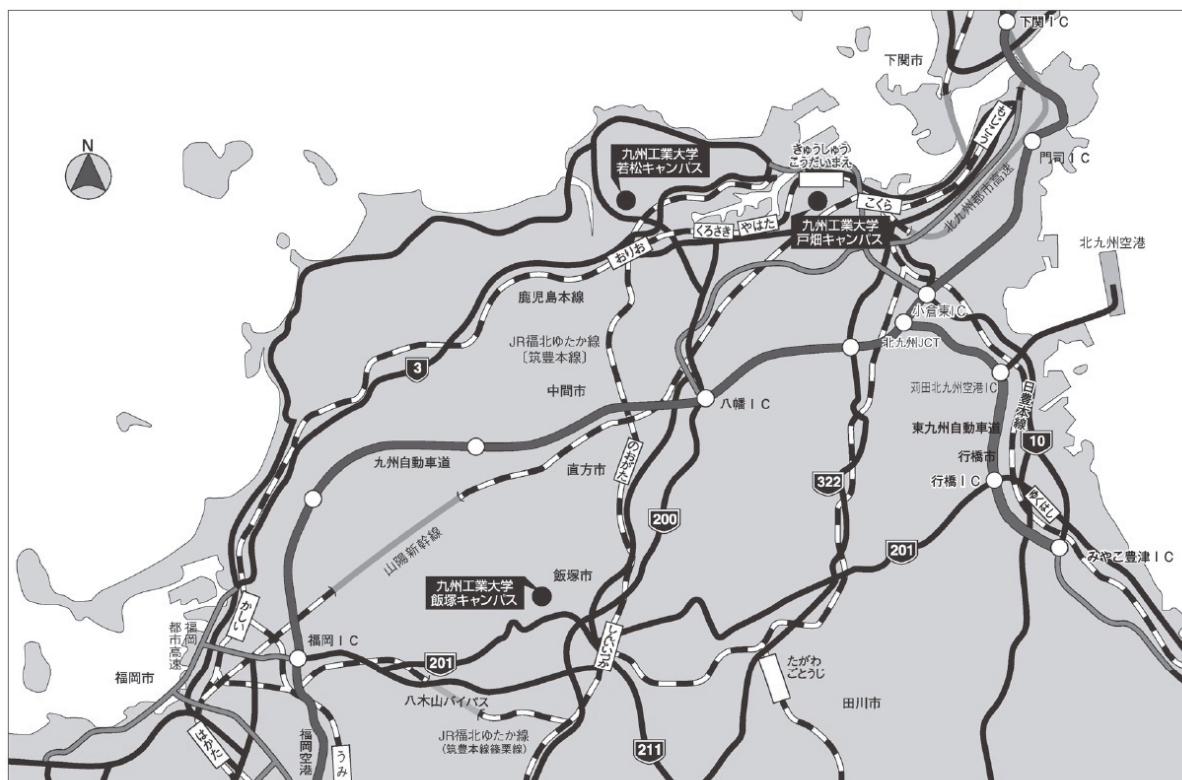
	総合型選抜Ⅱ							前期日程					後期日程						
	募集人員	性別	志願者	第1段階選抜	第2段階選抜	合格者	入学者	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者
類																			
工学1類	5	男	13	—	11	4	4	34	男	80	73	31	31	18	男	110	44	15	14
		女	4	—	3	1	1		女	31	31	8	7		女	39	16	5	5
工学2類	11	男	18	—	18	8	8	67	男	151	144	69	69	42	男	219	91	51	46
		女	6	—	6	3	3		女	10	8	1	1		女	16	9	4	4
工学3類	5	男	9	—	8	3	3	61	男	141	136	66	66	36	男	179	69	44	33
		女	3	—	3	2	2		女	7	4	1	1		女	11	4	3	1
工学4類	4	男	4	—	4	2	2	31	男	70	64	30	28	17	男	76	28	17	11
		女	3	—	3	2	2		女	20	18	4	4		女	25	12	5	5
工学5類	4	男	6	—	6	3	3	32	男	51	49	31	29	13	男	47	18	10	9
		女	1	—	1	0	0		女	9	6	4	4		女	9	6	8	7
小計	29	男	50	—	47	20	20	225	男	493	466	227	223	126	男	631	250	137	113
		女	17	—	16	8	8		女	77	67	18	17		女	100	47	25	22
情工1類	9	男	18	—	17	7	7	100	男	277	268	104	103	25	男	257	92	23	17
		女	6	—	6	2	2		女	40	36	4	4		女	31	15	3	2
情工2類	6	男	7	—	6	1	1	62	男	108	107	61	61	15	男	56	30	14	12
		女	3	—	3	5	5		女	12	10	6	6		女	8	3	1	1
情工3類	7	男	10	—	9	1	1	68	男	62	60	60	56	17	男	58	23	22	16
		女	12	—	10	6	6		女	34	30	17	16		女	11	4	2	1
小計	22	男	35	—	32	9	9	230	男	447	435	225	220	57	男	371	145	59	45
		女	21	—	19	13	13		女	86	76	27	26		女	50	22	6	4
合計	51	男	85	—	79	29	29	455	男	940	901	452	443	183	男	1002	395	196	158
		女	38	—	35	21	21		女	163	143	45	43		女	150	69	31	26

	帰国生徒選抜						国際バカロレア選抜						私費外国人留学生選抜					
類	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者	募集人員	性別	志願者	受験者	合格者	入学者
工学1類	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	2	1	1	0		女	1	0	0	0
工学2類	若干名	男	3	2	1	1	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	1	1	0	0		女	0	0	0	0
工学3類	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	2	1	0	0
		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0
工学4類	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0
工学5類	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0
小計	若干名	男	3	2	1	1	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	2	1	0	0
		女	0	0	0	0		女	3	2	1	0		女	1	0	0	0
情工1類	若干名	男	2	2	1	0	若干名	男	1	1	0	0	若干名	男	1	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	1	1	1	0		女	0	0	0	0
情工2類	若干名	男	1	1	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0
情工3類	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0	若干名	男	0	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0		女	0	0	0	0
小計	若干名	男	3	3	1	0	若干名	男	1	1	0	0	若干名	男	1	0	0	0
		女	0	0	0	0		女	1	1	1	0		女	0	0	0	0
合計	若干名	男	6	5	2	1	若干名	男	1	1	0	0	若干名	男	3	1	0	0
		女	0	0	0	0		女	4	3	2	0		女	1	0	0	0

【注1】総合型選抜Ⅱの第1段階選抜は実施しなかった。

【注2】合格者には第2志望及び第3志望を含む。

◆九州工業大学の所在地



TOBATA

工学部（戸畑キャンパス）



●所在／福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

IIZUKA

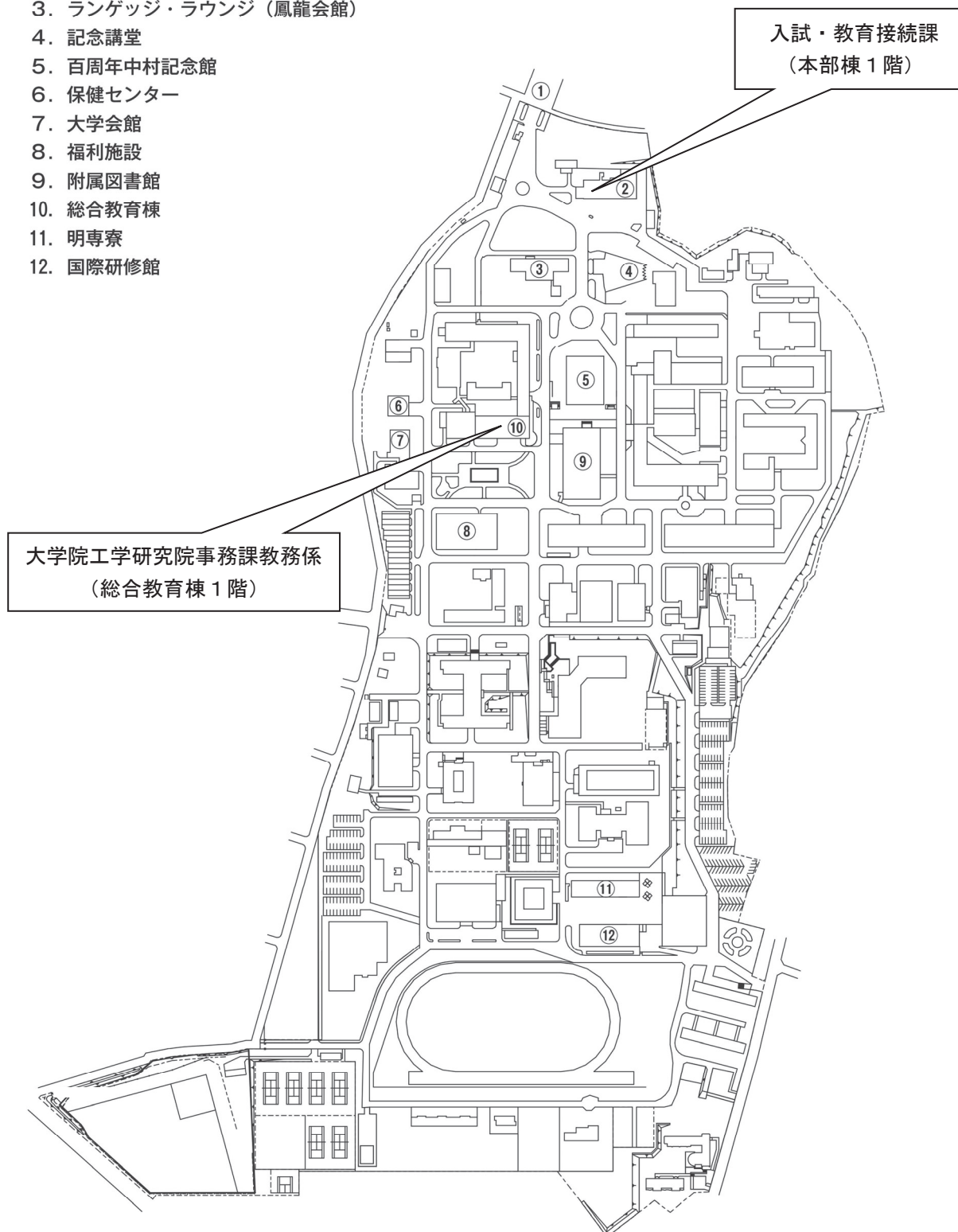
情報工学部（飯塚キャンパス）



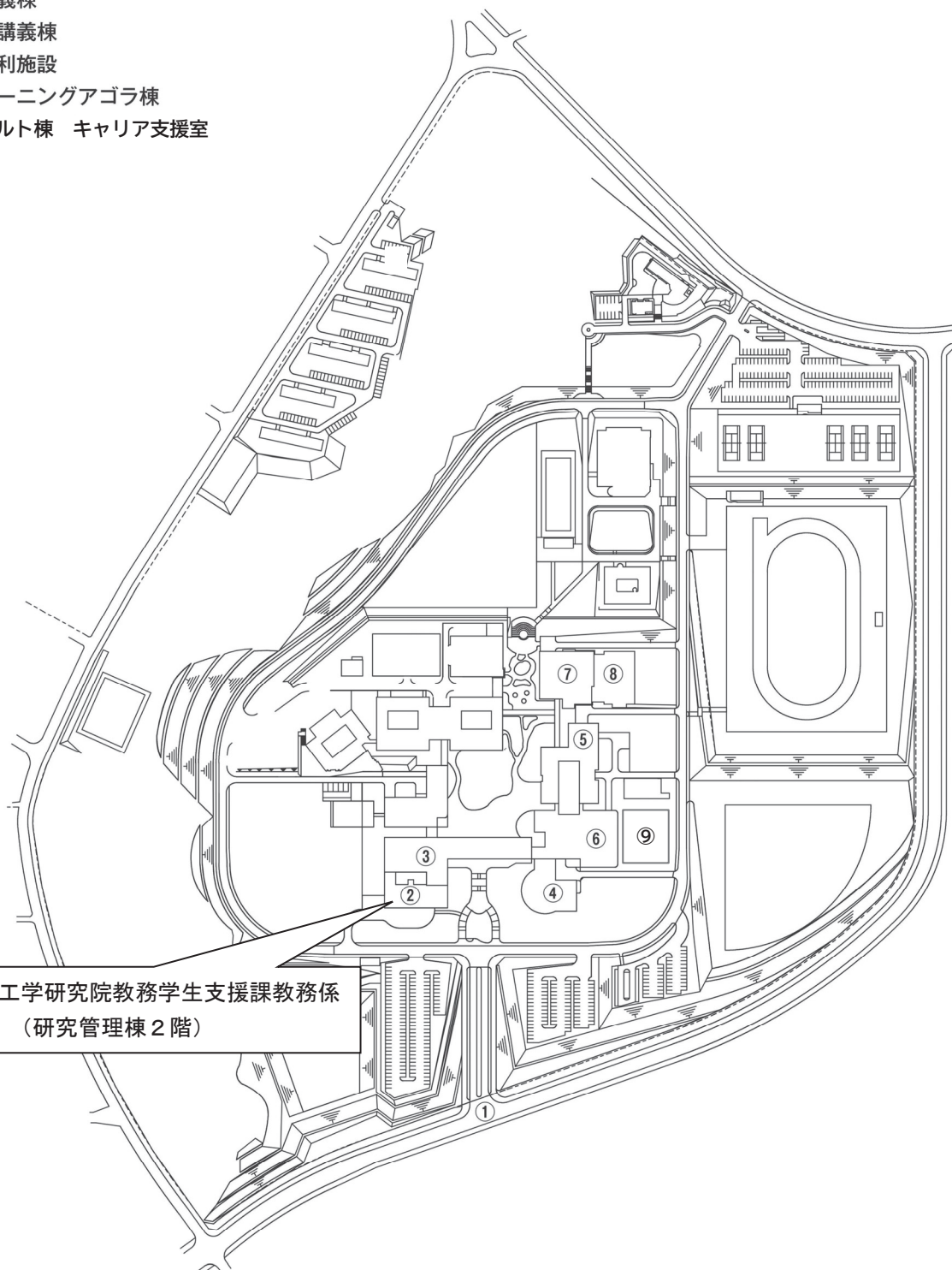
●所在／福岡県飯塚市川津680番4

工学部(戸畑キャンパス) 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

1. 正 門
2. 本部棟
3. ランゲッジ・ラウンジ (鳳龍会館)
4. 記念講堂
5. 百周年中村記念館
6. 保健センター
7. 学生会館
8. 福利施設
9. 附属図書館
10. 総合教育棟
11. 明専寮
12. 国際研修館



1. 正 門
2. 研究管理棟
3. 共通教育研究棟
4. 附属図書館分館
5. 講義棟
6. 大講義棟
7. 福利施設
8. ラーニングアゴラ棟
9. ボルト棟 キャリア支援室



大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係
(研究管理棟2階)

◆令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）の変更点【予告】

九州工業大学では、令和8年度入学者選抜において以下の変更を行います。

1. 学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）の募集停止について

工学部で実施している学校推薦型選抜（推薦Ⅱ）について、令和8年度選抜（令和7年度実施）から学生募集を停止します。

2. 総合型選抜（総合Ⅱ）の選抜方法の変更について

総合型選抜（総合Ⅱ）の出願資格に、『「高等学校卒業程度認定試験合格者及び合格見込みの者」または「本学の個別の入学資格審査で認定された者」で、令和8年3月末日までに18歳に達する者』を追加します。

この変更に伴い、第1段階選抜の「高校入学後の活動に関する記述」を「活動報告書」（中学卒業後の活動に関する記述）に変更し、第2段階選抜で実施している「課題解決型記述問題」を第1段階選抜で実施の上、配点化します。また、第2段階選抜における大学入学共通テスト及びグループワークの配点を一部変更します。

【令和7年度選抜】

試験	教科	配点	科目等
提出 願時	調査書	100	
	高校活動	200	
提出 願後	(なし)		
第1段階選抜合計		300	得点は第2段階選抜に持ち越さない。
大学入学 共通テスト (第2段階選抜)	国語	150	「国語」
	地歴 公民	50	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」から1科目
	数学	工学部 250 情工1類 275 情工2類 250 情工3類 225	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」
	理科	工学部 250 情工1類 225 情工2類 250 情工3類 275	工学部：「物理」と「化学」 情報工学部：「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目
	外国語	250	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目
	情報	25	「情報Ⅰ」
	グループワーク	300	
(主体性等評価 第2段階選抜)	個人面接	300	「課題解決型記述問題（事前提出課題）」、「調査書」、「高校入学後の活動に関する記述」に関する質疑応答
	第2段階選抜合計		1,575

【令和8年度選抜（変更後）】

試験	教科	配点	科目等
提出 願時	調査書	100	調査書のない出願資格者は課題解決型記述問題の得点を元に調査書の見込み点を算出し、第1段階選抜を実施する。
	活動報告書	200	
提出 願後	課題解決型 記述問題	100	出願後に提示される課題を所定の期日までに提出。 解答にあたっては、他者との相談や書籍等を参考して作成してもよい。
第1段階選抜合計		400	得点は第2段階選抜に持ち越さない。
大学入学 共通テスト (第2段階選抜)	国語	150	「国語」
	地歴 公民	50	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」から1科目
	数学	全学部 全類 250	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」
	理科	全学部 全類 250	工学部：「物理」と「化学」 情報工学部：「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目
	外国語	250	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目
	情報	50	「情報Ⅰ」
(主体性等評価 第2段階選抜)	グループワーク	200	
	個人面接	300	「課題解決型記述問題」、「調査書」、「活動報告書」に関する質疑応答
第2段階選抜合計		1,500	

3. 個別学力検査および適性検査における数学の出題範囲について

令和5年6月7日付けの予告「令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）の変更点について【予告3】」でお知らせしているとおり，令和8年度入学者選抜から，個別学力検査および適性検査における数学の出題範囲に，「数学B」の「統計的推測」を加えます。

【一般選抜（前期日程・後期日程）／私費外国人留学生選抜】

個別学力検査「数学」について

- ・「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A」においては全範囲とする。
- ・「数学B」においては「数列」「統計的推測」を出題範囲とする。
- ・「数学C」においては「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。

【学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）／総合型選抜（帰国生徒）】

適性検査「数学」について

- ・「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A」においては全範囲とする。
- ・「数学Ⅲ」においては工学1～3類のみ「極限」「微分法」を出題範囲とする。
なお，その他の類では「数学Ⅲ」は出題範囲としない。
- ・「数学B」においては「数列」「統計的推測」を出題範囲とする。
- ・「数学C」においては「ベクトル」を出題範囲とする。
ただし，工学1類～3類のみ「平面上の曲線と複素数平面」も出題範囲とする。

【総合型選抜（総合Ⅰ）】

適性検査「数学」について

- ・「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A」においては全範囲とする。
- ・「数学B」においては「数列」「統計的推測」を出題範囲とする。
- ・「数学C」においては「ベクトル」を出題範囲とする。

九州工業大学

入試・教育接続課入試係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
電話 093-884-3056

大学院工学研究院事務課教務係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
電話 093-884-3332

大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4
電話 0948-29-7519